

平成31年度

事業報告書

社会福祉法人

西予総合福祉会



## 平成31年度 事業報告

社会福祉法人 西予総合福祉会

年号が平成から令和に変わり、時代が変わる中、法人でも游の里温泉及びデイサービスの両事業に幕を引くこととなった。まず温泉は、平成8年4月の開設以来、西予市の指定管理契約の元で事業継続してきたが、近年は利用客減少による採算割れが常態化し、更に空調機器の老朽化により、今後大規模修繕が見込まれることから、この度の西予市の同施設民営化方針に従い、撤退した。

デイサービス事業も定員や職員体制を見直しながら、西日本豪雨災害後も運営してきたが、温泉と一体化した建物でもあり、事業に終止符を打った。

一方、新事業としては地元の要望を受け、西予市からの事業移管により、明浜町の高山保育所を次年度から運営することとなった。既に2月1日からは共同保育を開始し、移管に備えている。また、豪雨災害にて休園中の明間保育園も、新年度から再開できるように準備を進めた。いずれも法人の持ち味を活かし、更に地域に根付いた保育園を目指していく。

更に障がい事業では市の公募により当法人が選定され、三瓶町に地域共生型交流拠点事業として『なごみかん』を来る5月1日より、運営開始の予定である。この施設は、健康づくりや交流の場として、また高齢者や障がい者の働く場として、地域住民の誰もが気軽に立ち寄り、満足感・充実感が得られる事を目的としており、新たな地域の拠点の役割を担っていききたい。

高齢者事業では宇和町山田地区にて事業展開していた認知症対応型デイ『石城あんしんの家れんげ』が建物の耐震性不足等の理由により、4月からは松葉寮の建物内で名称を『かえで』と変更し、よりよいサービスの充実を図るため、再スタートを切る。そしてケアマネジャーの事業所である『居宅介護支援事業所松葉寮』は、開明の杜内に事務所を移転しているが、その名称から松葉寮に対して、来客や問い合わせが多かったため、事業所名を『居宅介護支援事業所陽だまり』に変更し、より親しみやすい事業所を目指す。

人材確保では外国人雇用にも間口を広げ、松葉寮にEPA介護福祉士候補生を昨年12月よりフィリピンから2名受け入れた。ミャンマー人技能実習生は今年3月からあけはま荘で2名を皮切りに夏にはあと2名、そして皆樂園でも2名受け入れ予定で多様な雇用の受け皿として機能していく予定である。

設備整備関係では、松葉寮の空調設備の老朽化に伴い、省エネ対象補助金を得て更新を行い、利用者に快適な環境を提供することが出来た。その他、各施設で設備の老朽化に伴い、各居室のエアコンの更新及び修理、車両等の更新を行った。

経営状況として、事業活動収入が昨年比2%の伸びで37億円を超えた。それぞれの主要事業が堅調なことに起因している。資金収支差額も安定した数字を残せたが、職員の離職率が養護・障がい事業部12.4%及び児童事業部9.4%と法人目標数値である離職率5%を大きく上回る6.7%となった。人口減少により、福祉の担い手不足が叫ばれて久しい現在、次年度に大きな課題を残した年となった。

次に項目別に報告

## 1. 会議の開催

### (1) 評議員会

第1回（令和元年5月9日：書面決議）

議案第 1号 定款の一部変更について

第2回（令和元年6月24日）

議案第 2号 平成30年度社会福祉事業収支決算の承認について

議案第 3号 平成30年度公益事業収支決算の承認について

議案第 4号 理事の選任について

議案第 5号 監事の選任について

議案第 6号 会計監査人の選任について

報告第 1号 平成30年度事業報告について

第3回（令和2年3月13日）

議案第 7号 定款の一部変更について

議案第 8号 理事の解任及び選任について

### (2) 理事会

第1回（平成31年4月26日：書面決議）

議案第 1号 評議員会の招集事項を定めることについて

議案第 2号 評議員候補者の選出及び評議員選任解任委員会への推薦について

議案第 3号 評議員選任解任委員会委員の選任及び解任について

第2回（令和元年5月30日）

議案第 4号 平成30年度事業報告について

議案第 5号 平成30年度社会福祉事業収支決算の承認について

議案第 6号 平成30年度公益事業収支決算の承認について

議案第 7号 「老人事業部門」運営規程の改訂について

議案第 8号 「養護・障がい事業部門」運営規程の改訂について

議案第 9号 「児童事業部門」運営規程の改訂について

議案第 10号 規則規程の改訂について

議案第 11号 平成31年度社会福祉事業第1次収支補正予算（案）について

議案第 12号 評議員選任・解任委員の招集について

議案第 13号 定時評議員会の開催及び議案について

報告第 1号 運営協議会委員の選任について

第3回（令和元年6月25日）

- 議案第 14号 理事長の選定について
- 議案第 15号 常務理事及び常任理事の選定について
- 議案第 16号 「老人事業部門」運営規程の改訂について
- 議案第 17号 平成31年度社会福祉事業第2次収支補正予算（案）について
  
- 報告第 2号 職務の執行状況について
- 報告第 3号 游の里温泉及び游の里デイサービスセンターの今後の運営について
- 報告第 4号 高山保育所の移管準備について
- 報告第 5号 石城あんしんの家れんげの今後の運営について

第4回（令和元年10月3日）

- 議案第 18号 高山保育園の新築計画の承認について
- 議案第 19号 「老人事業部門」運営規程の改訂について
- 議案第 20号 規則規程の改訂について
- 議案第 21号 平成31年度社会福祉事業第3次収支補正予算(案)について
- 議案第 22号 西予市地域共生型交流拠点施設の指定管理法人の募集について
  
- 報告第 6号 予備費の使用に関する報告について
- 報告第 7号 就学支援採用者の報告について
- 報告第 8号 職務の執行状況について

第5回（令和元年12月19日）

- 議案第 23号 高山保育園の事業開始の同意について
- 議案第 24号 游の里デイサービスセンター事業廃止の同意について
- 議案第 25号 游の里健康センター及び游の里ふれあい広場事業廃止の同意について
- 議案第 26号 「老人事業部門」運営規程の改訂及び廃止について
- 議案第 27号 「公益事業」管理規程の廃止について
- 議案第 28号 規則規程の改訂について
- 議案第 29号 令和元年台風第19号にかかる義援金の支出について
- 議案第 30号 積立金の目的外使用について
- 議案第 31号 平成31年度社会福祉事業第4次収支補正予算(案)について
- 議案第 32号 平成31年度公益事業第1次収支補正予算(案)について
  
- 報告第 9号 職務の執行状況について

第6回（令和2年2月28日：書面決議）

- 議案第 33号 評議員会の開催及び議案について
- 議案第 34号 理事辞任に伴う補欠選任者の推薦について
- 議案第 35号 平成31年度公益事業第2次収支補正予算(案)について

第7回（令和2年3月13日）

- |         |                              |
|---------|------------------------------|
| 議案第 36号 | 「老人事業部門」運営規程の改訂について          |
| 議案第 37号 | 「養護・障がい事業部門」運営規程の改訂について      |
| 議案第 38号 | 「児童事業部門」運営規程の改訂について          |
| 議案第 39号 | 規則規程の改訂について                  |
| 議案第 40号 | 平成31年度社会福祉事業第5次収支補正予算(案)について |
| 議案第 41号 | 平成31年度公益事業第3次収支補正予算(案)について   |
| 議案第 42号 | 令和2年度事業計画(案)について             |
| 議案第 43号 | 令和2年度社会福祉事業収支予算(案)について       |
| 議案第 44号 | 令和2年度公益事業収支予算(案)について         |
| 議案第 45号 | 苦情解決第三者委員の選定について             |
| 議案第 46号 | 常任理事の選定について                  |
| 議案第 47号 | 施設長の任免について                   |
| 報告第 10号 | 第1次中長期計画検証について               |
| 報告第 11号 | 第2次中長期計画策定について               |
| 報告第 12号 | 職務の執行状況について                  |

(3) 監査会（令和元年5月22日・23日）

平成30年度、西予総合福祉会の決算について監査、承認を得た。

（社会福祉事業及び公益事業）

(4) 評議員選任・解任委員会

第1回（令和元年6月6日）

- |        |                |
|--------|----------------|
| 議案第 1号 | 評議員の解任及び選任について |
|--------|----------------|

(5) 運営協議会（令和元年6月25日）

平成30年度 事業報告及び決算報告、各事業部事業概要報告をおこなった。

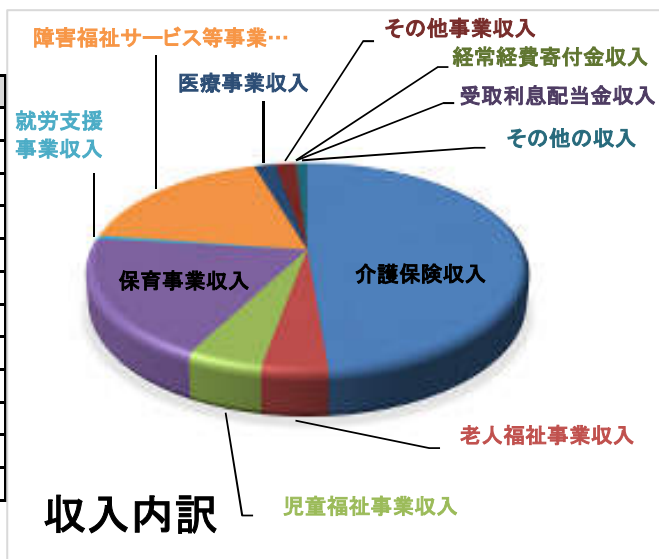
施設別運営状況は、別紙のとおり

I. 事業活動による収入・支出額

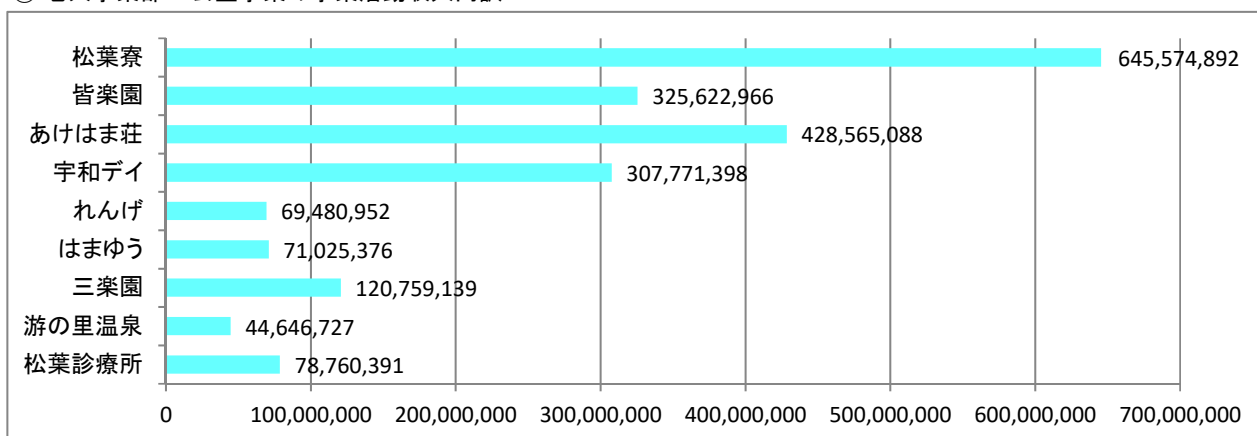
1. 事業活動による収入内訳

単位:円

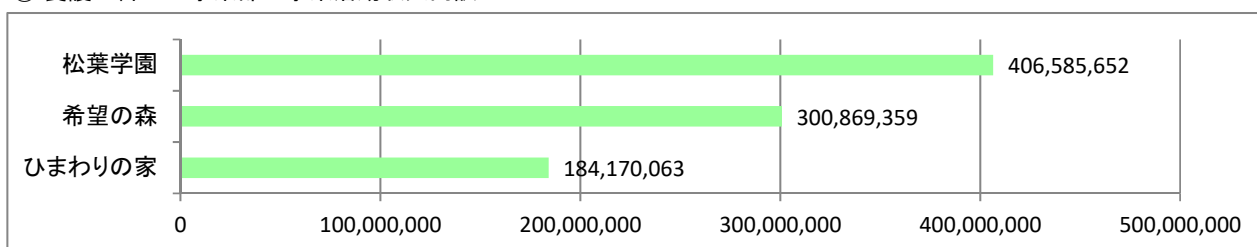
勘定科目	金額	率
介護保険収入	1,802,877,203	48.7%
老人福祉事業収入	156,861,910	4.2%
児童福祉事業収入	181,362,403	4.9%
保育事業収入	702,216,978	19.0%
就労支援事業収入	21,833,568	0.6%
障害福祉サービス等事業収入	668,816,649	18.1%
医療事業収入	67,825,214	1.8%
その他事業収入	65,340,192	1.8%
経常経費寄付金収入	1,366,887	0.0%
受取利息配当金収入	265,805	0.0%
その他の収入	35,941,027	1.0%
事業活動収入計	3,704,707,836	100.0%



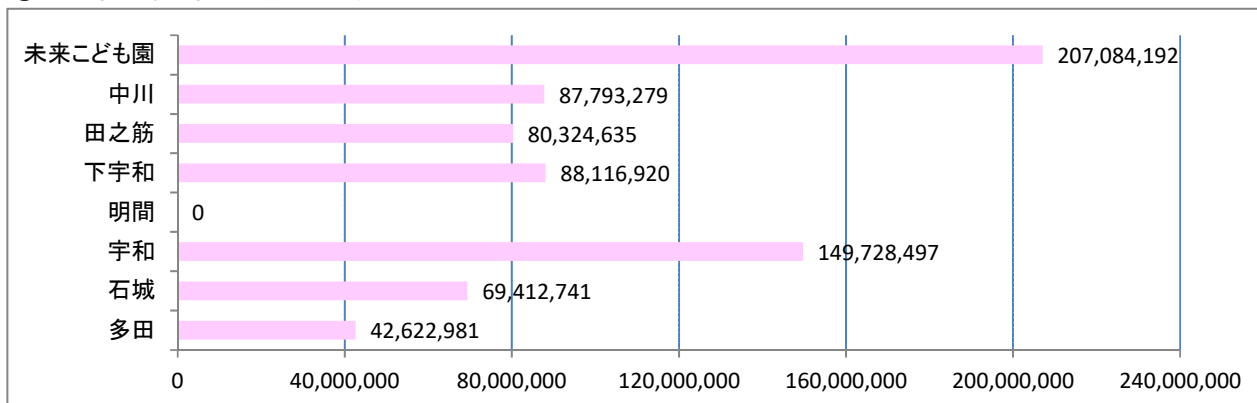
① 老人事業部・公益事業の事業活動収入内訳



② 養護・障がい事業部の事業活動収入内訳



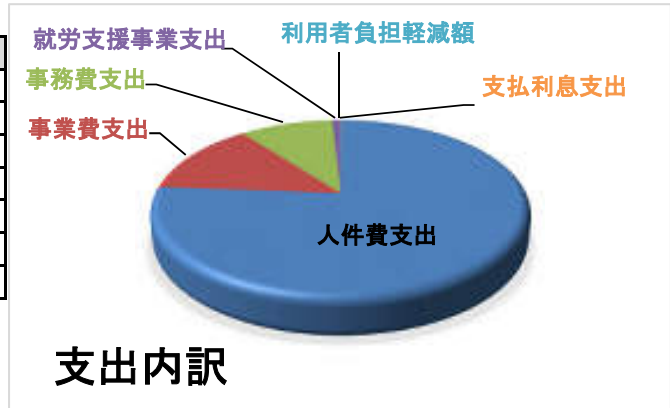
③ 児童事業部の事業活動収入内訳



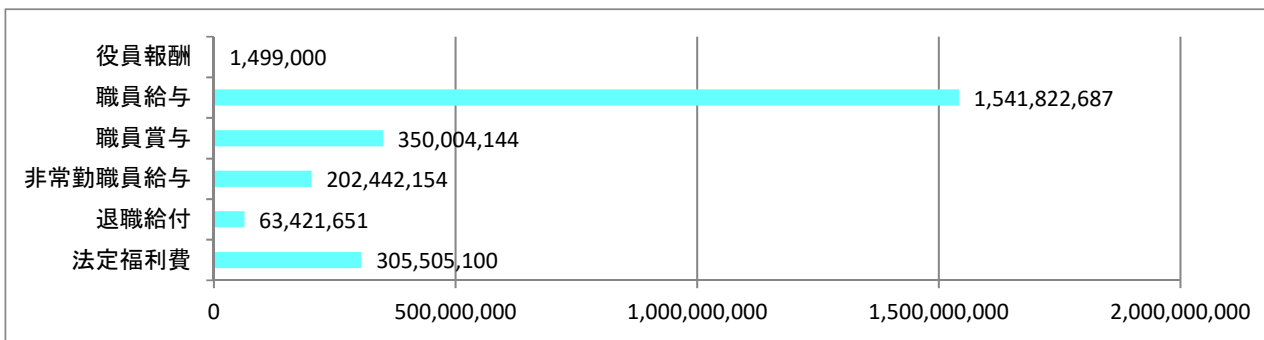
2. 事業活動による支出内訳

単位：円

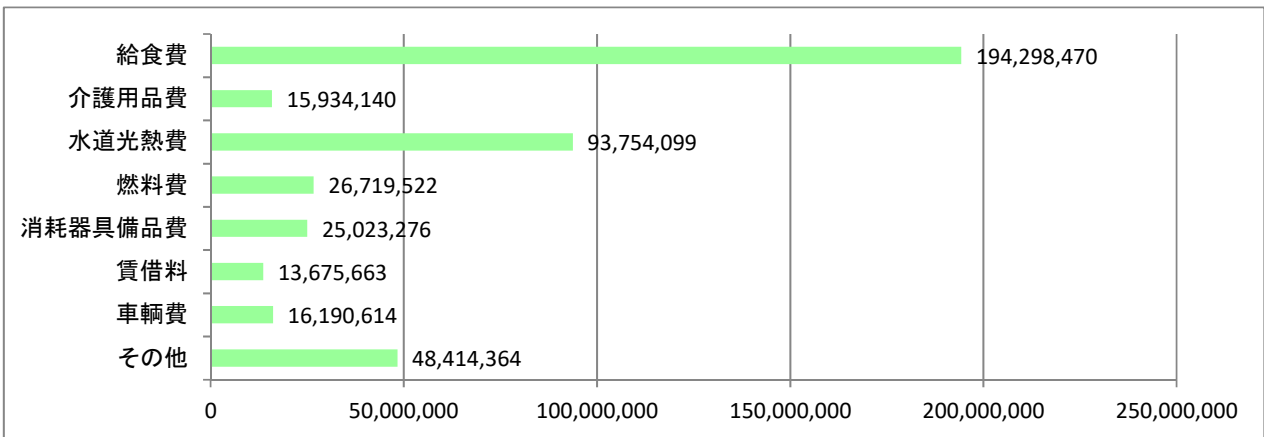
勘定科目	金額	率
人件費支出	2,464,694,736	76.2%
事業費支出	434,010,148	13.4%
事務費支出	307,343,363	9.5%
就労支援事業支出	25,549,398	0.8%
利用者負担軽減額	1,372,325	0.0%
支払利息支出	1,475,104	0.0%
事業活動支出計	3,234,445,074	100.0%



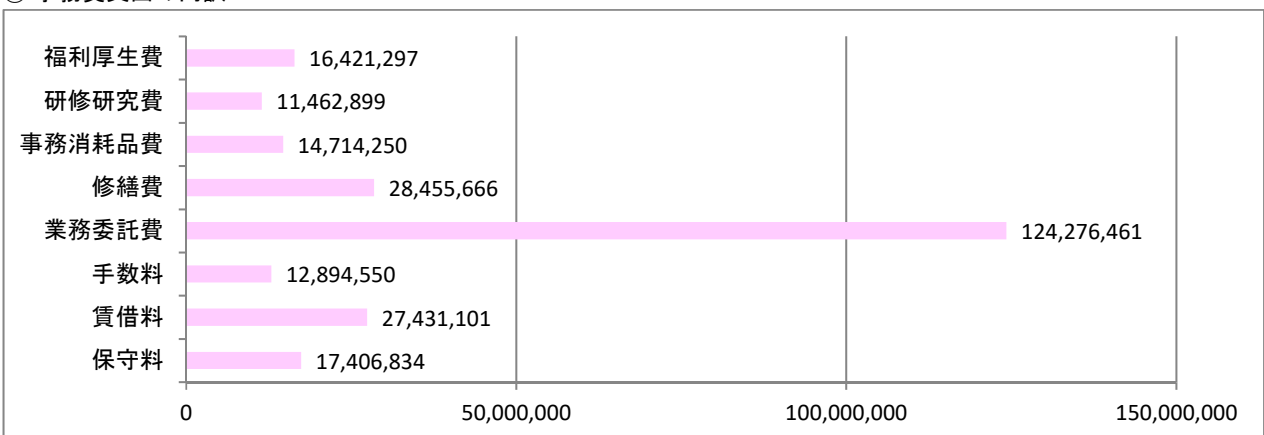
① 人件費支出の内訳



② 事業費支出の内訳



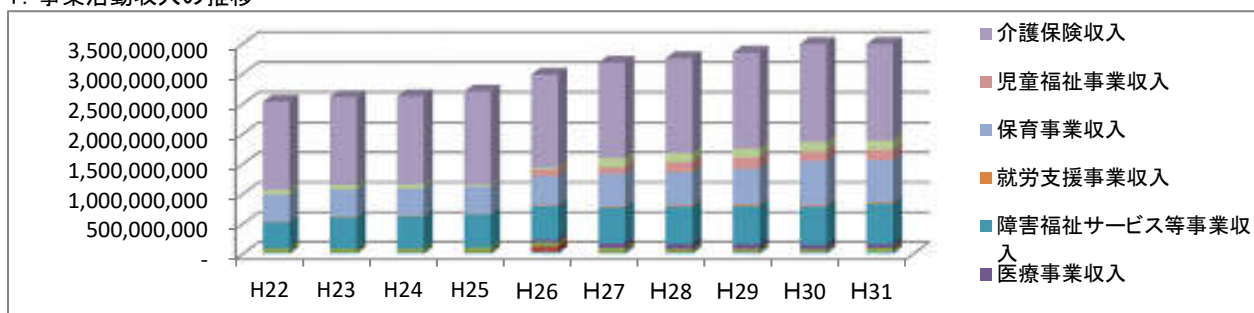
③ 事務費支出の内訳





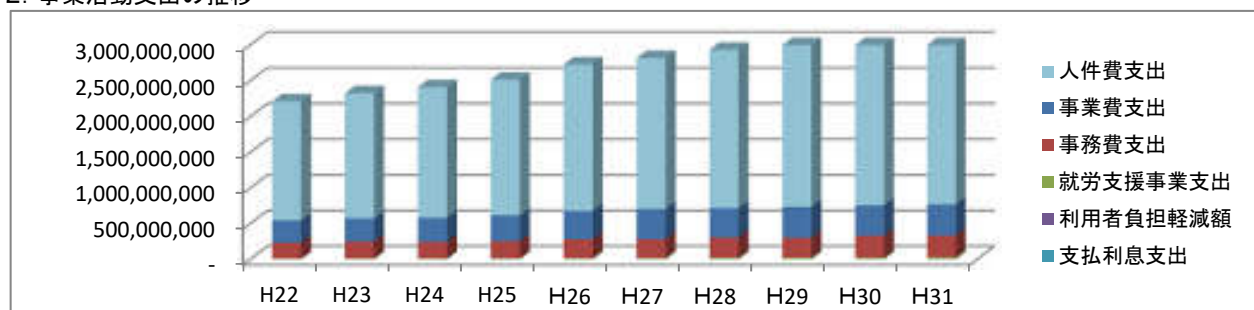
Ⅱ. 事業活動収支の推移(平成25年度より新会計基準適用 平成24年度以前は新基準に科目を振替て表示)

1. 事業活動収入の推移



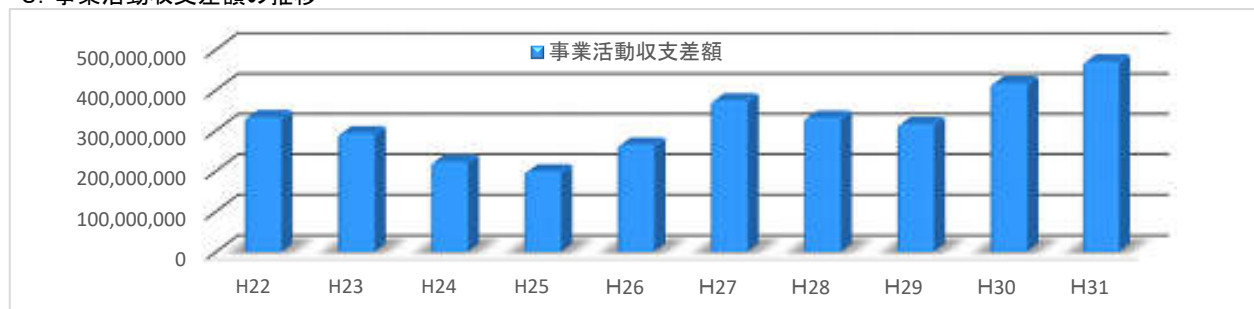
勘定科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
介護保険収入	1,585,098,470	1,573,624,938	1,595,656,878	1,753,665,426	1,802,877,203
老人福祉事業収入	149,514,307	149,930,445	150,342,310	156,879,347	156,861,910
児童福祉事業収入	112,414,252	173,811,208	189,474,431	166,280,544	181,362,403
保育事業収入	551,756,892	560,562,327	603,023,186	741,770,584	702,216,978
就労支援事業収入	15,191,663	19,399,415	22,091,238	22,000,235	21,833,568
障害福祉サービス等事業収入	597,817,498	617,845,343	628,544,637	630,979,738	668,816,649
医療事業収入	75,997,299	80,674,559	81,354,055	76,981,151	67,825,214
その他事業収入	70,243,352	59,020,394	54,738,021	43,910,872	65,340,192
経常経費寄付金収入	3,333,791	1,412,000	4,096,307	2,975,000	1,366,887
受取利息配当金収入	1,076,028	532,098	198,338	109,074	265,805
その他の収入	29,488,389	27,687,534	29,815,675	32,490,648	35,941,027
事業活動収入計	3,191,931,941	3,264,500,261	3,359,335,076	3,628,042,619	3,704,707,836

2. 事業活動支出の推移



勘定科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
人件費支出	2,110,680,046	2,216,463,453	2,306,307,692	2,455,076,324	2,464,694,736
事業費支出	425,534,708	413,014,643	437,903,181	425,274,572	434,010,148
事務費支出	260,720,368	278,447,888	272,990,956	304,267,569	307,343,363
就労支援事業支出	18,931,450	22,713,847	24,748,000	24,279,278	25,549,398
利用者負担軽減額	1,897,333	1,865,938	1,688,599	1,265,953	1,372,325
支払利息支出	597,145	752,286	589,172	1,707,666	1,475,104
事業活動支出計	2,818,361,050	2,933,258,055	3,044,227,600	3,211,871,362	3,234,445,074

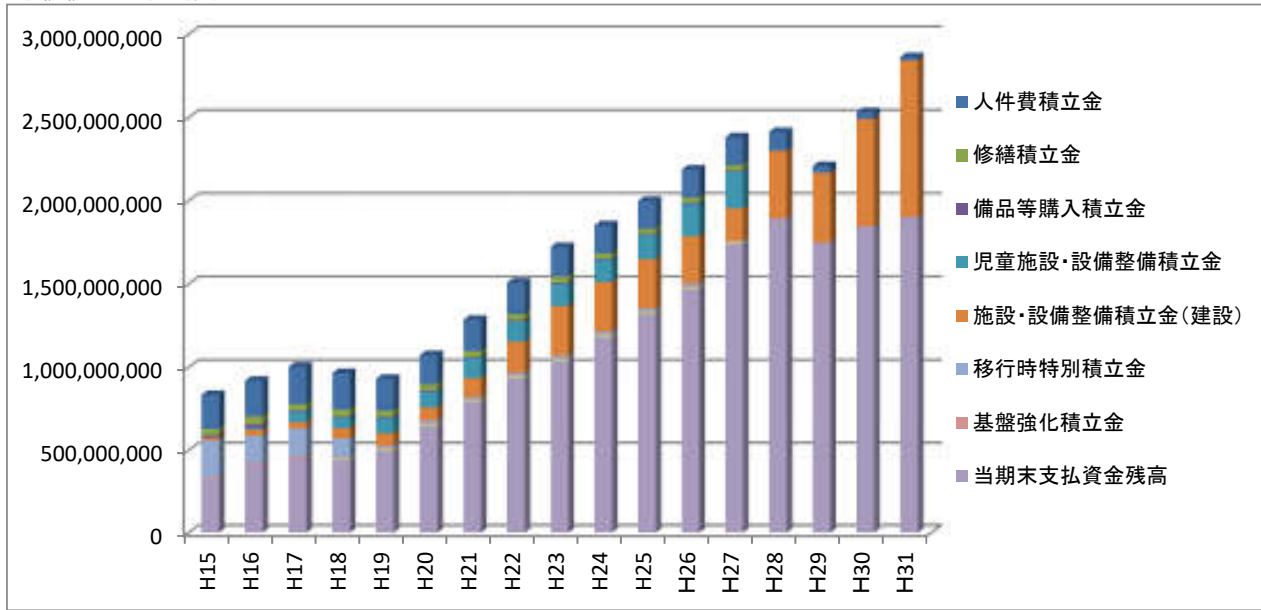
3. 事業活動収支差額の推移



勘定科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業活動収支差額	373,570,891	331,242,206	315,107,476	416,171,257	470,262,762

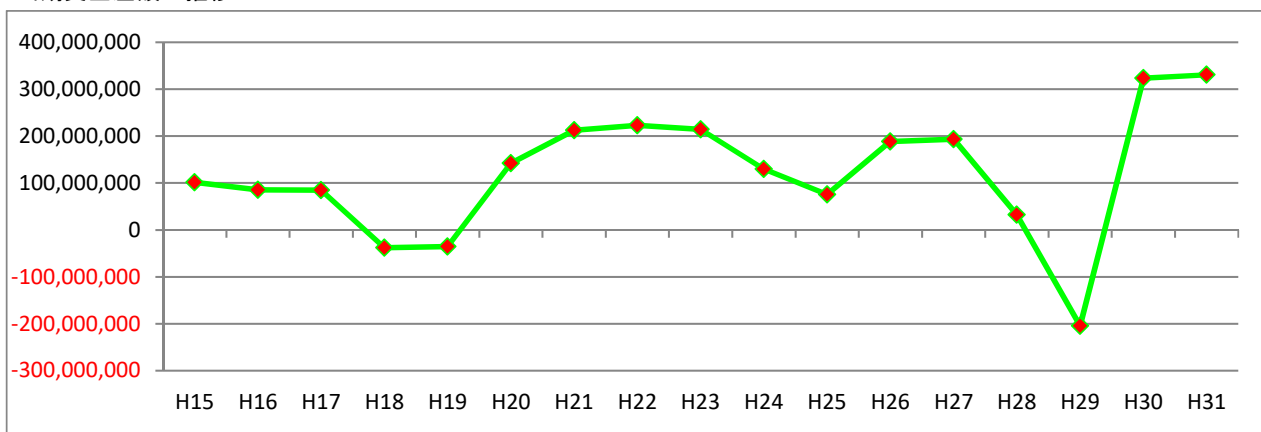
Ⅲ. 積立金等の推移（\*平成28年度より児童施設・設備整備積立金と建設積立金を統合し施設・設備整備積立金とする）

1. 累積積立金等の推移



勘定科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
人件費積立金	167,864,000	114,137,000	40,790,000	40,790,000	20,790,000
修繕積立金	31,400,000			0	0
備品等購入積立金	6,500,000			0	0
児童施設・設備整備積立金	220,038,000			0	0
施設・設備整備積立金(建設積立金)	193,133,025	405,189,762	421,520,219	645,520,219	939,520,219
移行時特別積立金	0			0	0
基盤強化積立金	10,585,029			0	0
福祉の里推進活動積立金	12,406,708			0	0
当期末支払資金残高	1,740,949,701	1,896,121,048	1,748,716,019	1,848,088,254	1,904,791,874
合計	2,382,876,463	2,415,447,810	2,211,026,238	2,534,398,473	2,865,102,093

2. 当期資金差額の推移

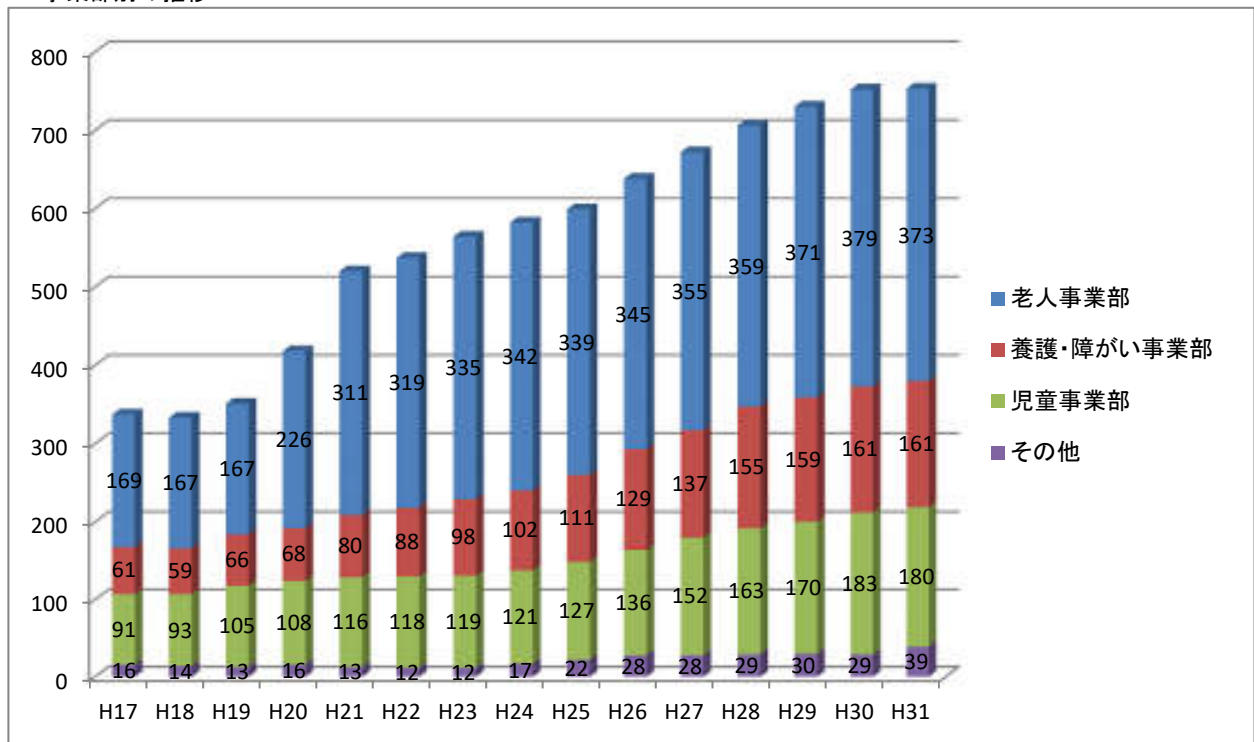


勘定科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
当期資金収支差額	193,353,239	32,571,347	-204,421,572	323,372,235	330,703,620

※ 当期資金差額は(当期積立預金積立額-当期積立預金取崩額)+当期資金収支差額

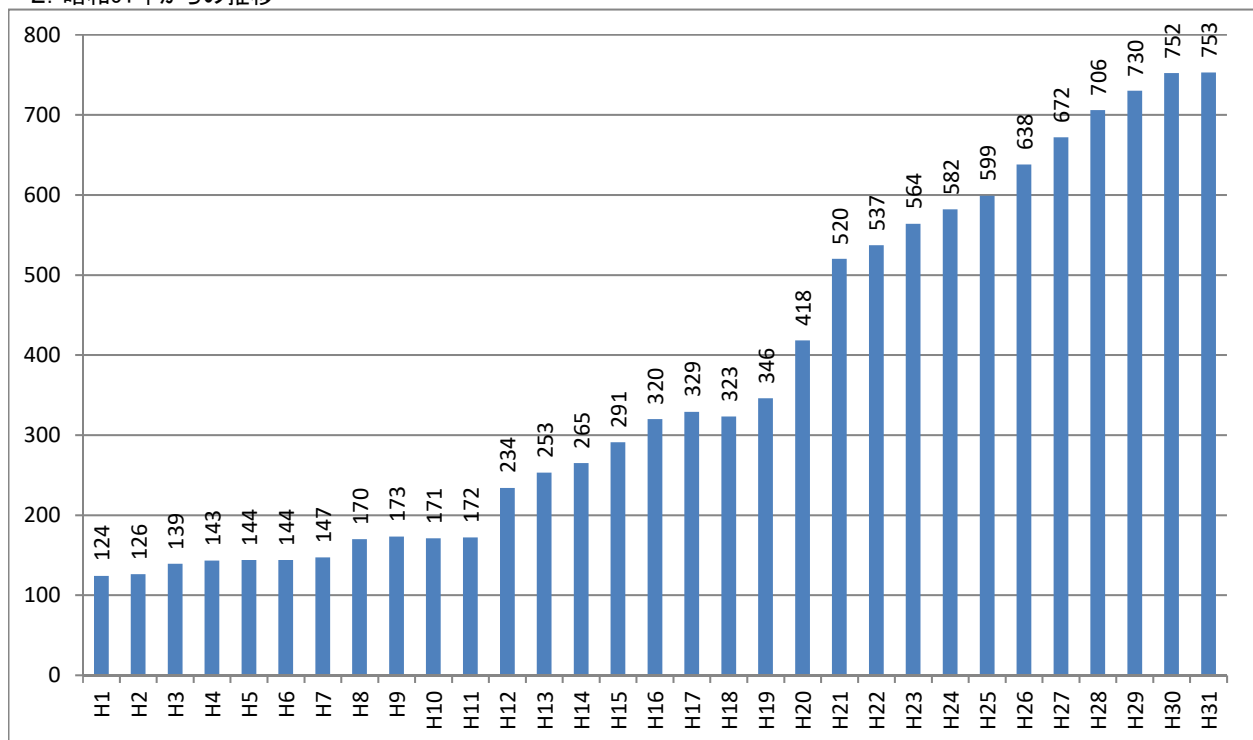
#### IV. 職員数の推移

##### 1. 事業部別の推移



	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
老人事業部	345	355	359	371	379	373
養護・障がい事業部	129	137	155	159	161	161
児童事業部	136	152	163	170	183	180
その他	28	28	29	30	29	39
合計	638	672	706	730	752	753

##### 2. 昭和51年からの推移



## 事業報告 : 松葉寮

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	378,299,928	389,548,099	393,605,860	404,928,860
支出(円)	358,907,494	381,587,628	379,256,207	387,636,242
差額	19,392,434	7,960,471	14,349,653	17,292,618

#### ○状況

- ・広域特養については、昨年度より、収入増であるが、収支では厳しい状況。
- ・地域密着、短期入所も昨年度より収入増となり、収支差額も増となった。
- ・広域特養については、地域密着、短期の事業でカバーしている状況。

### 利用者推移

特養	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	25,706	26,217	26,065	26,238
前年比(%)	—	102.0%	99.4%	100.7%

短期	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	5,994	5,792	5,792	6,226
前年比(%)	—	96.6%	100.0%	107.5%

#### ○状況

- ・特養では、入院者数が昨年の1387人／年から1140人／年に減ったことと、退所から入所までの日数が3.3日と昨年(6.7日)と比べ大幅に短くなったことで、利用者増となった。

### 施設整備

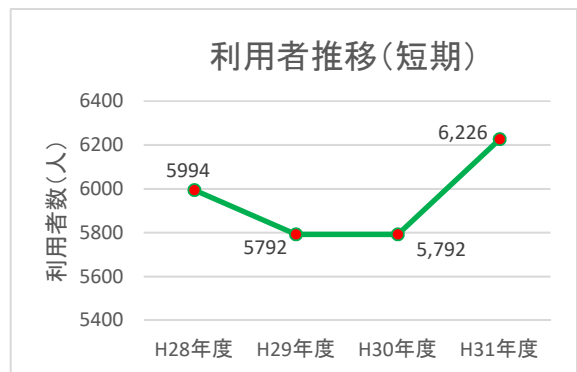
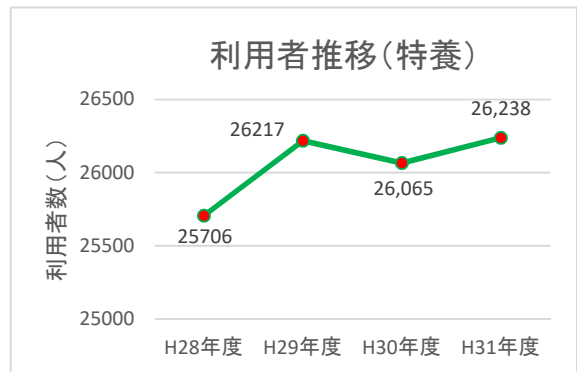
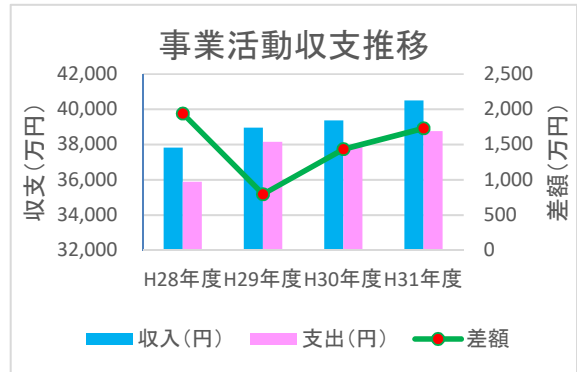
- ・老朽化に伴う施設エアコン更新
- ・厨房冷凍庫
- ・温冷配膳車2台
- ・非常用発電機修理

### 人材育成・研修

- ・愛媛県の補助金を活用し、ノーリフティングケア指導講師による、目的等の座学および実践指導をいただき、施設全体での取り組みとして年間実施。

### トピックス

- ・12月より、EPA(経済連携協定)介護福祉士候補生2名がフィリピンより来日し、就労開始。



## 事業報告 : 開明の杜

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	49,119,716	51,352,911	220,449,059	240,646,032
支出(円)	41,911,791	43,034,740	195,892,534	201,104,553
差額	7,207,925	8,318,171	24,556,525	39,541,479

H28年度からH29年度は居宅と訪問介護のデータ

#### ○状況

- ・特養では延べ利用者数10311人／年、平均介護度4.1、平均28人／日、平均稼働率97%、ショートでは、延べ利用者数3253人／年、平均介護度3.2、平均8.8人／日、平均稼働率88%であり、入退所においてもスムーズに行えたことが安定運営に繋がっている。人件費において、時間外労働を年間平均で41%削減できたことも支出削減に大きく関わっている。
- ・居宅では、利用稼働率は95%あり、安定した事業展開が行えている。
- ・ヘルパーについては総合事業での利用者が多く、なかなか収入に結びつく安定した運営を行うことは難しい。令和2年度は、介護保険での要介護3以上のご利用者確保を目指し、安定した運営を目指したい。

### 利用者推移

特養	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	—	—	9,723	10,312
前年比(%)	—	—	—	106.1%

短期	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	—	—	2,670	3,253
前年比(%)	—	—	—	121.8%

居宅	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	2,606	2,698	2,703	2,758
前年比(%)	—	103.5%	100.2%	102.0%

訪問介護	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	326	443	366	418
前年比(%)	—	135.9%	82.6%	114.2%

#### ○状況

- ・開明の杜では、年間では入退所者が8名、入院者21名と前年度を上回る稼働率を確保できたことで、前年度伸び率も6%上がっているため、利用者推移の大きな変化はなかった。
- ・居宅においては、平成28年度から平成31年度の利用伸び率にも大きな変化はなく、利用稼働率が安定していることから、利用者推移に大きな変化はなかった。
- ・ヘルパーにおいては、平成28年度から平成31年度の利用伸び率は、ほぼ変化していない。利用者推移については、年度によって15%程度の変動がある。これについては、施設入所や施設利用が大きく関わっていると考えられる。

### 施設整備

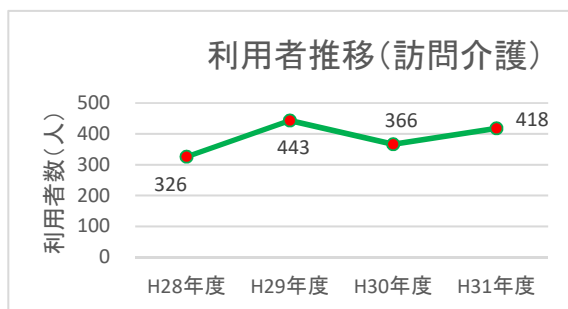
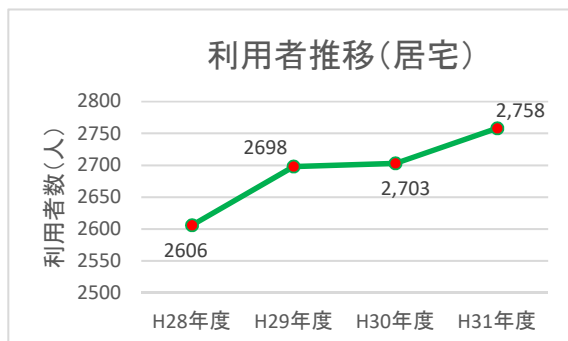
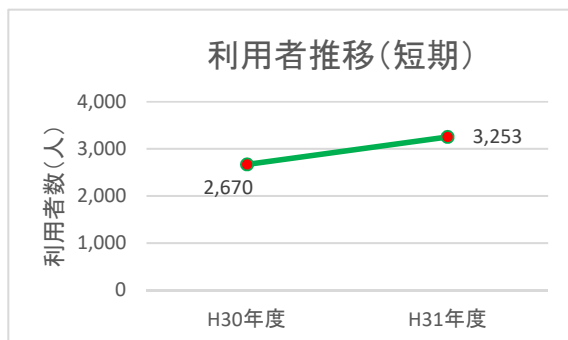
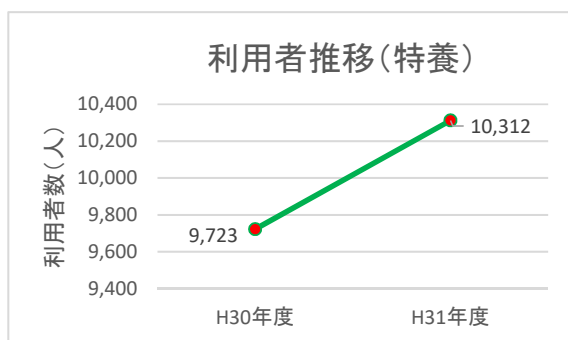
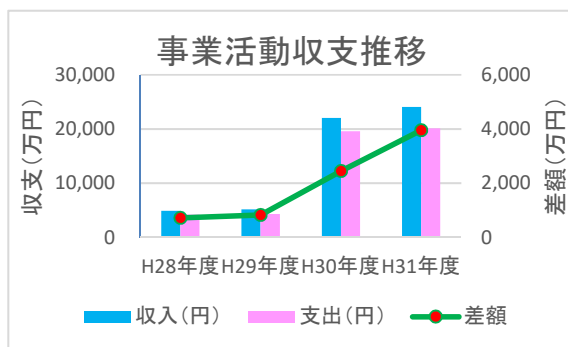
- ・テレビ購入(フナイFL24H1010)【居室用3台】
- ・キャンプロジェクターLV-WX370(J)【OJT研修用】
- ・ベッドサイドテーブルAX-BT19【4台】

### 人材育成・研修

- ・特養で年間を通じて、必須となる研修また、外部からの講師依頼での研修計画を立て、定期的に職員の質の向上を目指して施設OJT研修会を開催している。

### トピックス

- ・ご利用者・ご家族様が施設での生活に安心していただけるように、ご利用者様の健康管理の徹底と、医療機関と密に連携をとり早期での対応に努めることで信頼関係が築けている。
- ・地域との交流を図り、地域の方々に信用していただけるために地域貢献に努めている。



## 事業報告 : 皆楽園

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	231,652,857	312,795,815	319,942,689	325,622,966
支出(円)	209,936,583	284,749,063	285,953,158	287,876,915
差額	21,716,274	28,046,752	33,989,531	37,746,051

#### ○状況

・通所の利用者増により収入が増えたため、皆楽園全体の収入アップとなっている。しかし、来年度のデイは職員配置で必要な要件から外れた加算があり、今年度と稼働率が変わらないようなら収入は落ち込みとなる。入所については、9月から技能実習生2名が雇用となる為、人件費は増えると計算している。

施設・設備整備積立金 : 10,000,000円

### 利用者推移

特養	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	17,936	17,834	18,000	17,995
前年比(%)	—	99.4%	100.9%	100.0%

短期	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	2,725	2,773	2,662	2,664
前年比(%)	—	101.8%	96.0%	100.1%

通所	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	4,655	4,065	3,618	4,220
前年比(%)	—	87.3%	89.0%	116.6%

#### ○状況

・特養については前年度と大差なく、高い稼働率となっている。平均では49.3人/日である。短期も前年と同じ数字であり、平均は7.3人/日である。通所は高い伸びを示し、平均だと昨年の11.8人/日から今年度の13.5人/日と約2人/日の増となっている。入所は転倒などの事故で入院となる方があり、その分が稼働率の低下に繋がったと思われる。通所は困難な事例でも職員の意思の疎通を図り、積極的な受け入れを行うことで稼働率アップとなっている。来年度よりパート職員の勤務時間が増えるため、職員の負担が軽くなると考える。

### 施設整備

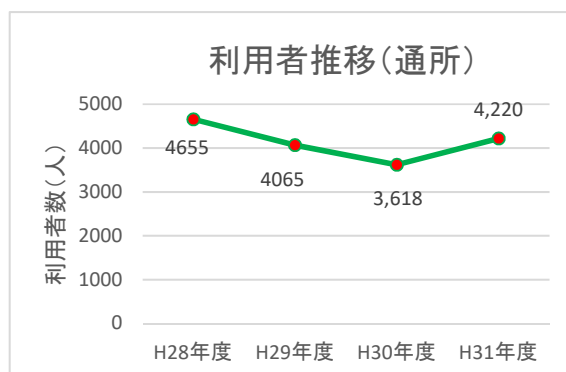
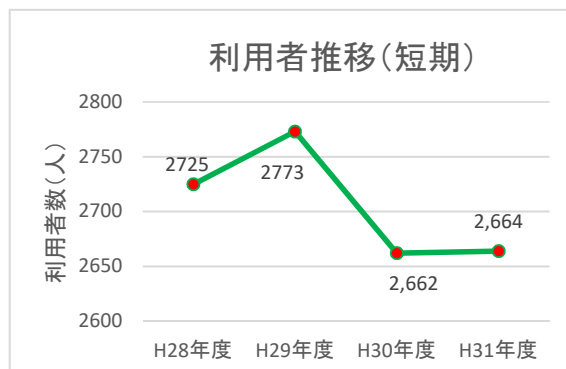
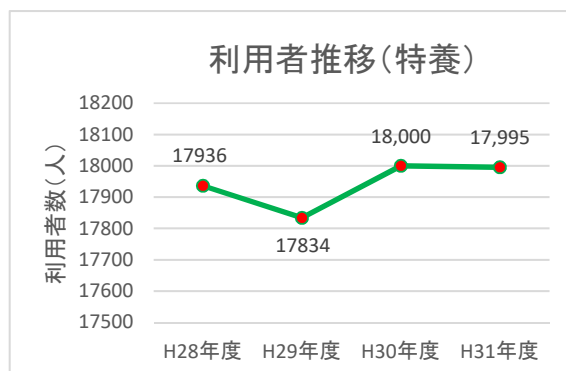
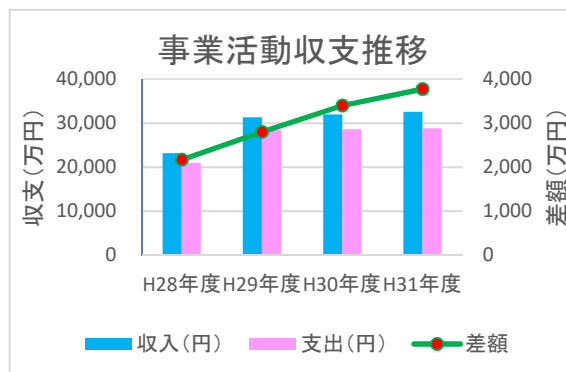
- ・浄化槽制御盤取替え
- ・研修施設ホールクーラー修繕工事
- ・汚物用洗濯機修理
- ・オゾン脱臭機取替え工事
- ・さくらカンナユニットプリンター購入

### 人材育成・研修

・四国、県、南予、西予市など老協関係の研修に出来るだけ参加していただき、専門的知識や技術の習得を図る。また施設内のOJT研修では、出張後の職員や若い職員を講師にして勉強会を開催している。自信へと繋がりが良い結果をもたらしている。

### トピックス

・施設の裏山が土砂災害警戒地域に指定されている。土地所有者の承諾がとれ次第、令和2年度より愛媛県が防護壁の設置を行うこととなる。これにより土砂災害のリスクは低くなるものの、危険性が排除されたわけではないので、続けて安全の確保はしていきたい。



## 事業報告 : あけはま荘

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	341,526,074	407,012,044	421,339,735	428,565,088
支出(円)	297,576,565	360,006,399	363,921,771	376,395,401
差額	43,949,509	47,005,645	57,417,964	52,169,687

#### ○状況

・特養は嘱託医の手厚いサポートにより空床期間が限りなく抑えられ、平成31年度においても安定した稼働率で推移しており、併設する短期入所も特養同様100%に近い稼働率を見せている。通所介護は微減がみられるものの、特養・短期入所が引っ張る形で全体の収支状況に大きな変化は見られない。今後も同様の推移が見込まれる。

施設・設備整備積立金 : 20,000,000円

### 利用者推移

特養	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	30,670	30,193	31,077	30,723
前年比(%)	—	98.4%	102.9%	98.9%

短期	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	1,417	1,433	1,677	1,728
前年比(%)	—	101.1%	117.0%	103.0%

通所	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	4,825	4,530	4,401	4,379
前年比(%)	—	93.9%	97.2%	99.5%

#### ○状況

・特養及び短期入所の稼働率は97～98%台の高水準を維持し、通所介護は微減の状況に変わりない。これは地域人口の動態に比例しており、通所介護は利用者の減少、入所系サービスは高齢化による介護依存度の向上が現れたものと判断している。

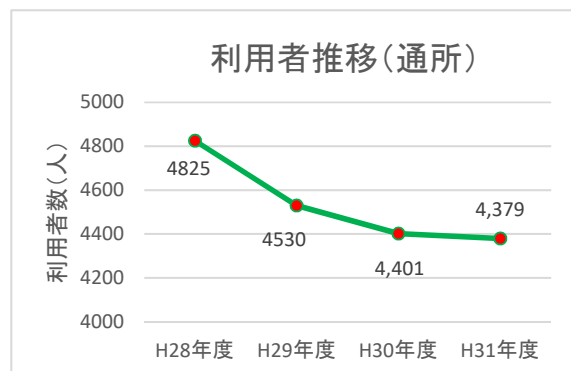
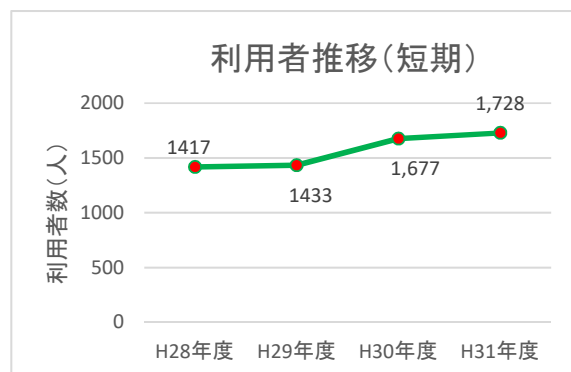
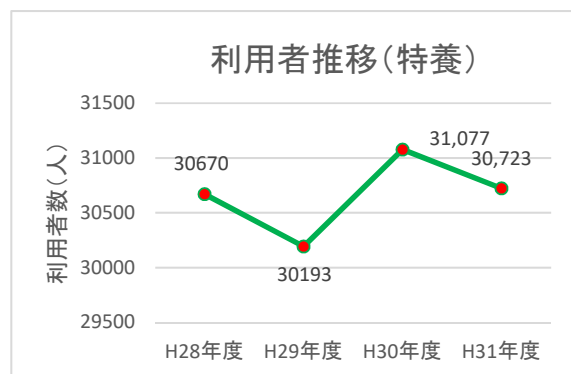
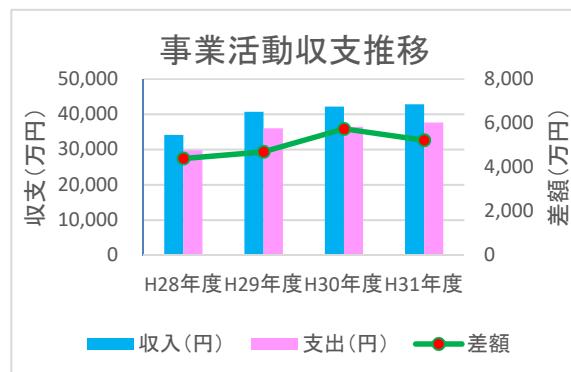
### 施設整備

- ・室内無線機器
- ・公用車(軽福祉車輛)

### 人材育成・研修

- ・OJTの推進
- ・老施協等外部研修への職員派遣

### トピックス



## 事業報告 : 宇和デイ

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	335,087,410	331,265,287	311,235,883	307,771,398
支出(円)	357,070,601	344,706,655	295,877,578	295,567,894
差額	△ 21,983,191	△ 13,441,368	15,358,305	12,203,504

#### ○状況

・宇和デイグループの事業活動収支は好調。要因は、福祉の里の利用者増、あんしんの家系事業所の増収、游の里における事業縮小。石城あんしんの家、職員抑制。新規利用者の増加が見られることから、次年度においても同様の推移が期待できる。

施設・設備整備積立金取崩 : 20,000,000円

### 利用者推移

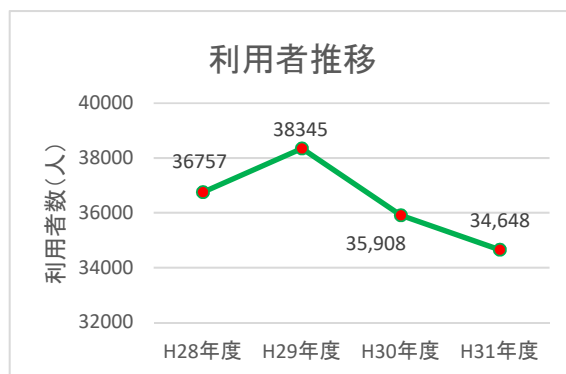
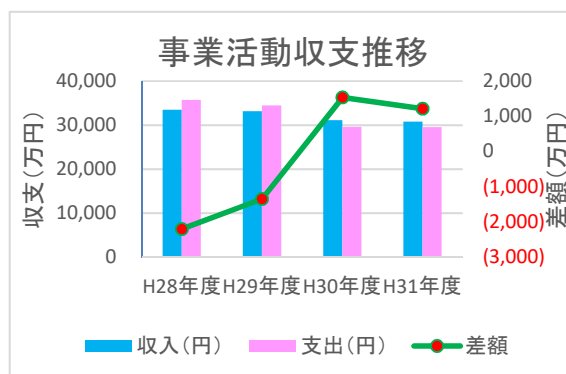
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	36,757	38,345	35,908	34,648
前年比(%)	—	104.3%	93.6%	96.5%

#### ○状況

・収益は上昇しているものの、全体の利用者数は減少している。これは游の里の事業廃止の周知と他事業所の幹旋を開始した9月以降が減少傾向にあった。石城あんしんの家は利用料が一般のデイサービスと比較して高額であることで、利用が減少。游の里、石城あんしんの家は減少分がそのまま数字に現れている。

### 事業所別 事業活動収支推移

福祉の里	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	66,825,487	59,335,861	65,435,226	97,232,012
支出(円)	71,729,524	66,124,818	62,086,097	81,772,526
差額	△ 4,904,037	△ 6,788,957	3,349,129	15,459,486
ななほし中川	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	38,046,303	42,167,515	49,507,120	51,196,577
支出(円)	37,718,396	38,631,731	41,187,067	41,611,518
差額	327,907	3,535,784	8,320,053	9,585,059
うつのみやさんの家	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	35,870,468	35,508,057	37,314,742	36,731,923
支出(円)	30,294,062	33,445,193	35,305,278	33,332,938
差額	5,576,406	2,062,864	2,009,464	3,398,985
游の里	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	65,233,030	59,492,512	45,348,136	17,856,094
支出(円)	70,987,443	67,488,369	47,763,708	25,731,157
差額	△ 5,754,413	△ 7,995,857	△ 2,415,572	△ 7,875,063
あんしんの家	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	37,783,694	44,833,496	47,647,198	47,897,528
支出(円)	38,012,612	38,558,188	38,299,389	40,998,698
差額	△ 228,918	6,275,308	9,347,809	6,898,830
石城あんしんの家れんげ	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	19,146,762	18,100,690	16,879,249	11,214,443
支出(円)	25,175,821	16,827,112	18,044,786	15,248,012
差額	△ 6,029,059	1,273,578	△ 1,165,537	△ 4,033,569
歩(通所)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	21,758,941	25,278,192	29,109,848	41,822,580
支出(円)	32,074,368	27,538,504	27,626,216	50,371,377
差額	△ 10,315,427	△ 2,260,312	1,483,632	△ 8,548,797
歩(訪問看護)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	—	—	—	3,770,241
支出(円)	—	—	—	6,451,668
差額	—	—	—	△ 2,681,427





## 事業報告 : 福祉の里デイ

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	66,825,487	59,335,861	65,435,226	97,282,012
支出(円)	71,729,524	66,124,818	62,086,097	81,822,526
差額	△ 4,904,037	△ 6,788,957	3,349,129	15,459,486

#### ○状況

・昨年度に増して中重度利用者の受入要請が増加し、2月より定員45名に変更した。加えて併設障がい福祉生活介護稼働率も安定している。游の里からの利用者数は3月時点で全体の22.0%、介護給付費収入は11.2%を占める。  
 ・昨年度に増して中重度利用者の受入要請が増加しており、医療・介護依存度が高く利用中止件数も多いが、定員を増やすごとに定員数に近い利用実績を得られた。

### 利用者推移

通所	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	5,903	5,025	6,013	8,981
前年比(%)	—	85.1%	119.7%	149.4%

#### ○状況

・新規契約37名と游の里26名の計63名の新規利用者があり、入所やご逝去等で27名の利用終了があるが、令和2年3月時点で118名と144%増加している。利用者数増加に対応すべく年度を通じて、事業所改修工事やカーテン設置等の修繕、サービス提供方法や業務の見直し、職員育成を実施、円滑な受入のため、タイムリーに利用予定件数や曜日ごとの利用者数・入浴方法ごとの利用者数、担当者会議スケジュール等、受入に必要な情報を一括入力し確認できるデータベースの構築などハード・ソフト両面から改善を重ねた。

### 施設整備

- ・食堂(デイフロア)改修及び洗面台設置
- ・浴室内クッションマット更新
- ・特浴及び普通浴室の脱衣室カーテン設置
- ・サンルーム断熱修繕
- ・ボイラーラインポンプ取付

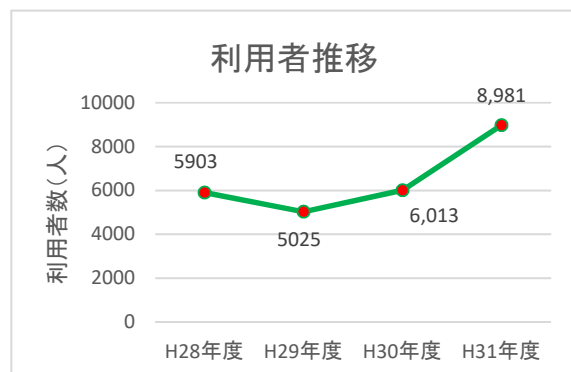
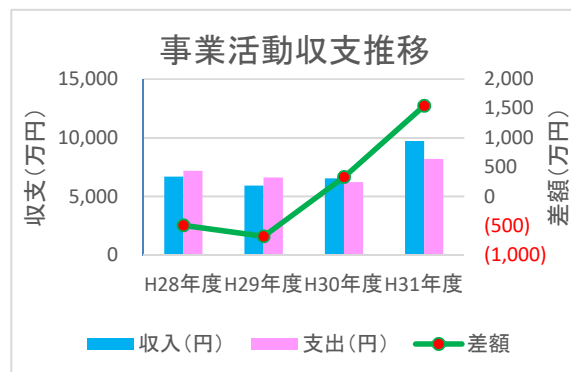
#### ☆新型コロナ影響にて次年度実施予定☆

- ・脱衣室床面積拡大のため洗面台撤去
- ・女子トイレ便器増設

### 人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・宇和デイグループ合同職員会

### トピックス



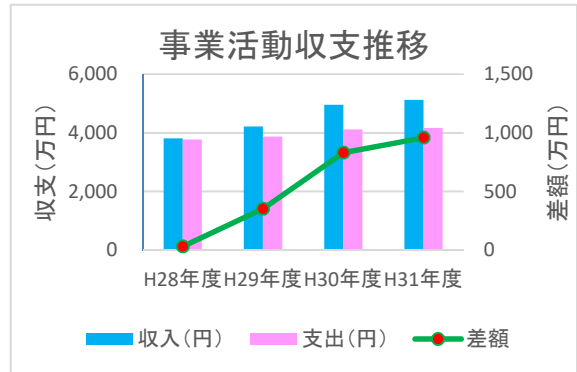
## 事業報告 : ななほし中川

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	38,046,303	42,167,515	49,507,120	51,196,577
支出(円)	37,718,396	38,631,731	41,187,067	41,611,518
差額	327,907	3,535,784	8,320,053	9,585,059

#### ○状況

・年末に入院、入所、体調不良で休まれるなどで利用率の低下がみられたが、年間を通しては昨年度と同程度の利用率を保っている。空きができたらずきにケアマネから新規の申し込みや対応もできる状況であり、継続していけると思われる。



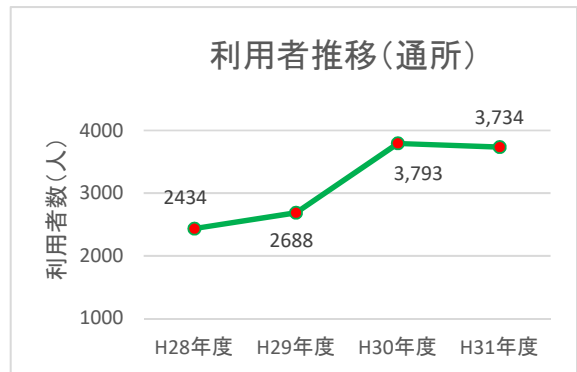
### 利用者推移

通所	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	2,434	2,688	3,793	3,734
前年比(%)	—	110.4%	141.1%	98.4%

短期	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	1,235	1,326	1,269	1,330
前年比(%)	—	107.4%	95.7%	104.8%

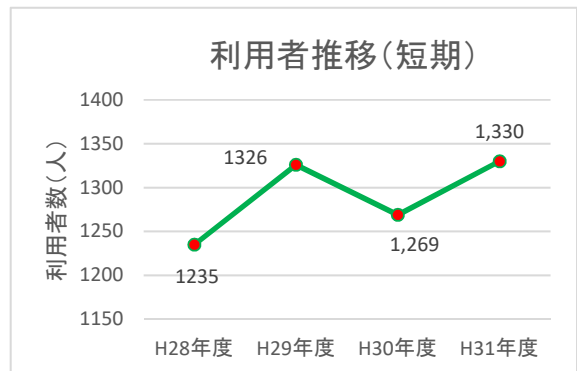
#### ○状況

・平成31年度も平成30年度に続けて利用者の獲得ができており、特に夏場は休まれる方も少なく、多くの方に利用してもらった。1年の中で、12月から1月にかけて、特に入院入所者、ご逝去された方や体調不良で休まれた方が多かったが、その後は新規利用者の受け入れや、利用追加の希望に対応したことで、前年比を保つことができた。



### 施設整備

・特に大きな修繕なし。施設長から、グループホームとの間に通路を作りつなげることで、グループホーム利用者の非常時における避難経路の確保や必要に応じて助け合える体制が作れるのではないかと提案してもらっていたが、引受業者との話は進んでいない。



### 人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・宇和デイグループ合同職員会

### トピックス

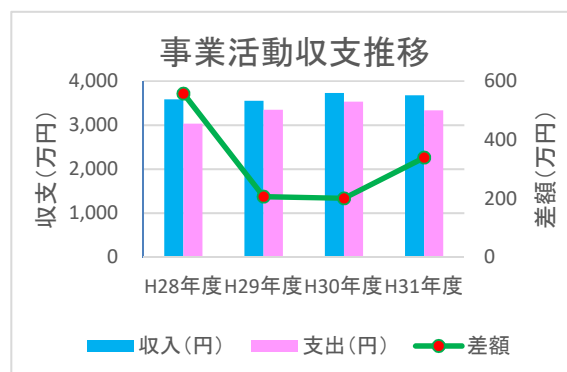
## 事業報告 : うつのみやさんの家

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	35,870,468	35,508,057	37,314,742	36,731,923
支出(円)	30,294,062	33,445,193	35,305,278	33,332,938
差額	5,576,406	2,062,864	2,009,464	3,398,985

#### ○状況

・利用者2名の入れ替わりがあり、入院日数の増加から、収入は減少した。  
令和2年度より、正看護師が配置され、医療連携体制加算(Ⅰ)を算定する予定である。

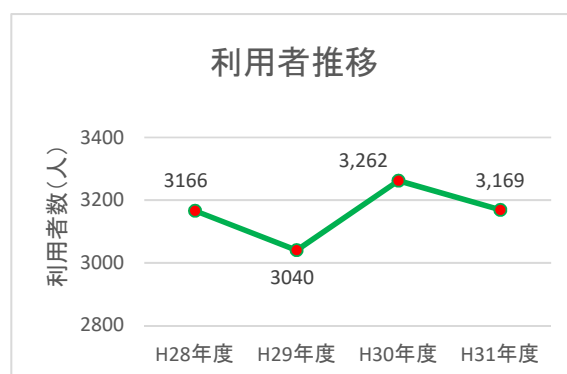


### 利用者推移

G H	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	3,166	3,040	3,262	3,169
前年比(%)	—	96.0%	107.3%	97.1%

#### ○状況

・利用率は減少。今後も利用者の健康状態に不安定な要素があり、主治医等との連携や日頃の健康管理を徹底して、利用率を安定させたい。



### 施設整備

### 人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・宇和デイグループ合同職員会

### トピックス

・令和2年3月の人事異動で、管理者を含め多数の異動があった。早く業務に慣れることと共に、これを機会に業務改善を行っていききたい。

## 事業報告 : 游の里デイ

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	65,233,030	59,492,512	45,348,136	17,856,094
支出(円)	70,987,443	67,488,369	47,763,708	25,731,157
差額	△ 5,754,413	△ 7,995,857	△ 2,415,572	△ 7,875,063

#### ○状況

・前年度に引き続き介護予防に特化した事業展開となる。低い介護報酬単価での推移に加え、事業廃止半年ほど前から他事業所への利用者流出が始まったため大幅な欠損増となった。

施設・設備整備積立金取崩 : 20,000,000円

### 利用者推移

通所	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	8,751	9,064	5,909	2,959
前年比(%)	—	103.6%	65.2%	50.1%

#### ○状況

・今年度当初は定員20名に対し17名弱の平均利用者数で推移していたが、事業廃止の周知と他事業所の斡旋を開始した9月以降は減少傾向にあった。年明けには受け入れ0名の日が週1日発生しているが、利用者の游の里に代わるデイサービス登録が順調に進んだ結果である。居宅介護支援事業所や法人内外の通所介護事業所との連携で利用者の利益に寄与でき、南予地方局や西予市担当課から安堵の声が聞こえてきている。

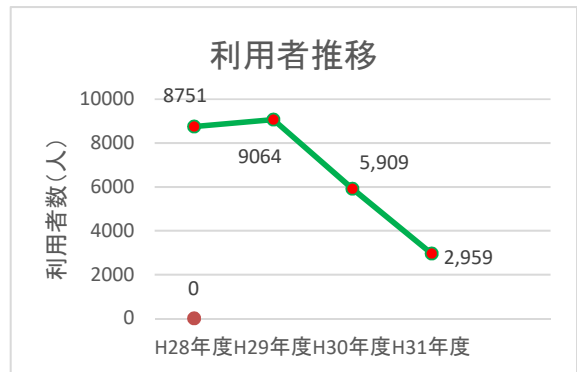
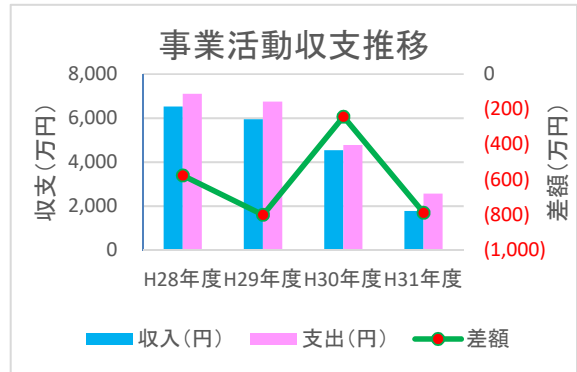
### 施設整備

### 人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・宇和デイグループ合同職員会

### トピックス

- ・令和2年2月28日事業廃止



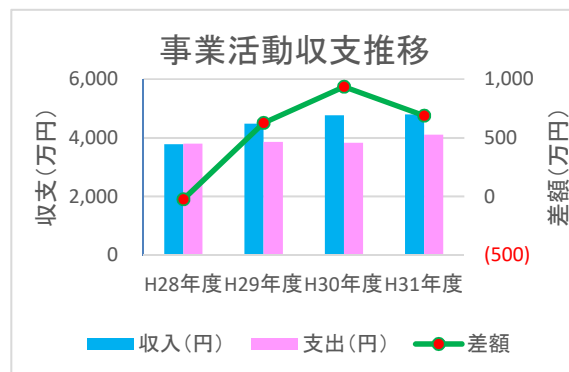
## 事業報告 : あんしんの家

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	37,783,694	44,833,496	47,647,198	47,897,528
支出(円)	38,012,612	38,558,188	38,299,389	40,998,698
差額	△ 228,918	6,275,308	9,347,809	6,898,830

#### ○状況

・利用者推移は通所・短期入所合わせると前年度と変わりがないように感じる。現在の地にあんしんの家が移転して10年以上が経過し設備(送迎車・浴室・洗濯機買い替え)の修繕や買い替えに費用が多くかかったと思われる。今後も設備の修繕は免れないと思うが利用者の受け入れを積極的に行い収入アップできるように取り組みたい。



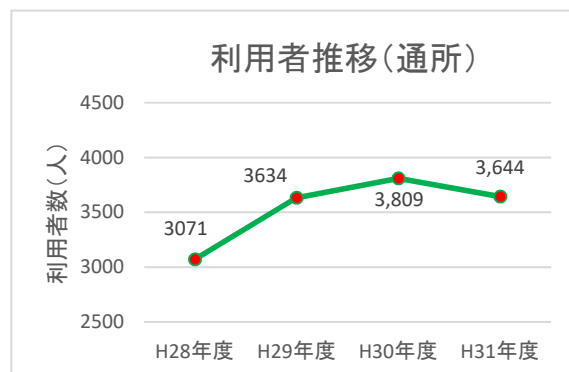
### 利用者推移

通所	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	3,071	3,634	3,809	3,644
前年比(%)	—	118.3%	104.8%	95.7%

短期	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	1,043	1,120	1,119	1,208
前年比(%)	—	107.4%	99.9%	108.0%

#### ○状況

・通所に関しては利用者数減となっている。高齢の利用者が多く体調を崩し長期入院や死去されたことが要因だと考えられる。短期入所については利用者数増となった。ご家族の要望を積極的に受け入れた結果であると思われる。引き続き積極的な受け入れを行っていきたいと考える。



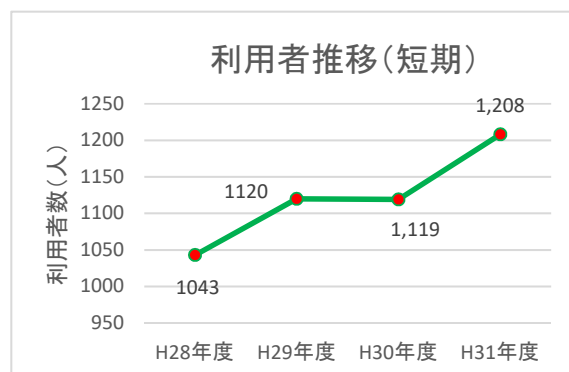
### 施設整備

- ・送迎車(ハイエース)の修繕 多箇所
- ・洗濯機の買い替え

### 人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・宇和デイグループ合同職員会

### トピックス



## 事業報告 : 石城あんしんの家れんげ

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	19,146,762	18,100,690	16,879,249	11,214,443
支出(円)	25,175,821	16,827,112	18,044,786	15,248,012
差額	△ 6,029,059	1,273,578	△ 1,165,537	△ 4,033,569

#### ○状況

・減収となった。平成31年度より職員を4名から3名に減員して、人件費を抑制したが、それ以上に利用率が低下したこと要因である。

### 利用者推移

通所	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	1,414	1,293	1,220	808
前年比(%)	—	91.4%	94.4%	66.2%

#### ○状況

・減少傾向である。利用料が一般のデイサービスと比較して高額であることで、利用が敬遠されている。また、認知症が進行して一般デイサービスの利用が難しくなってから、新規契約を行うことがほとんどである。よって、施設では対応できていても、在宅生活が難しくなり施設入所され、利用が継続しないケースが多い。福祉の里デイサービスセンターなどから、少人数のデイサービスに向いている利用者を紹介する試みを行ったが、いずれも施設の立地条件が「地域に密着しすぎて」という理由で、家族に了承を得られなかった。

### 施設整備

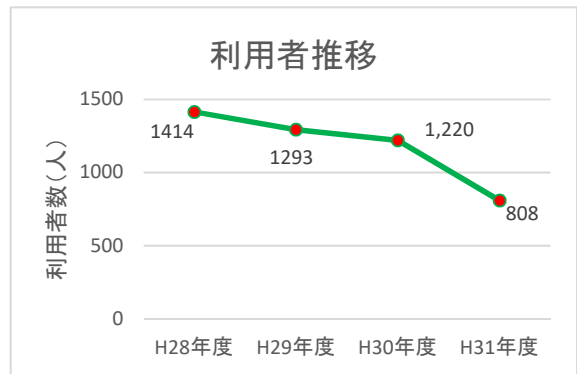
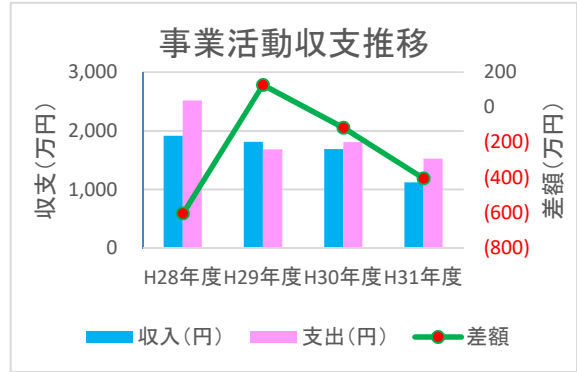
・移転

### 人材育成・研修

・法人内各種研修  
・宇和デイグループ合同職員会

### トピックス

・令和2年4月より、特別養護老人ホーム松葉寮内に移転し、かえでに名称変更。施設形態が併設型となり利用料が安くなることや、施設内のショートステイと連携で、利用率を増加させていきたい。



## 事業報告 : 歩

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	21,758,941	25,278,192	29,109,848	45,592,821
支出(円)	32,074,368	27,538,504	27,627,622	56,823,045
差額	△ 10,315,427	△ 2,260,312	1,482,226	△ 11,230,224

#### ○状況

・歩みま店の閉鎖に伴い、宇和を通常規模に変更。そのため、定員増。収入も少しずつ増加して行ったが、みま店の職員の増加分と訪看歩の立ち上げによる職員分を補うことが出来なかった。

### 利用者推移

通所	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	4,143	4,861	5,629	8,221
前年比(%)	—	117.3%	115.8%	146.0%

訪問看護	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	—	—	—	594
前年比(%)	—	—	—	—

#### ○状況

・歩みま店の閉鎖に伴い、宇和島地区の受け入れとして、地域密着型から通常規模への変更を行った。それにより利用者数の増加が認められた。

### 施設整備

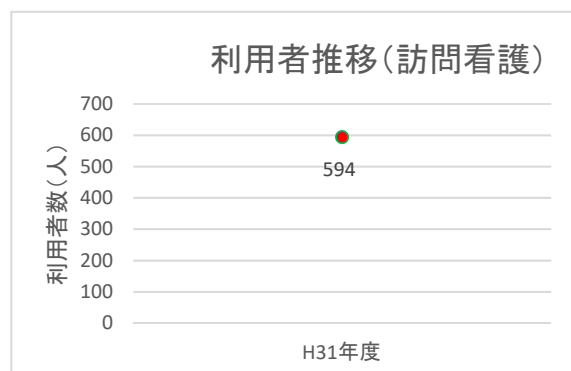
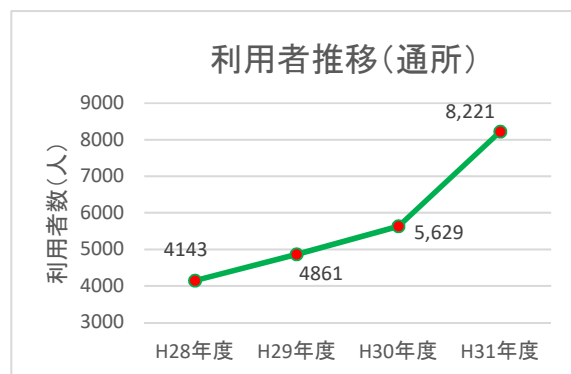
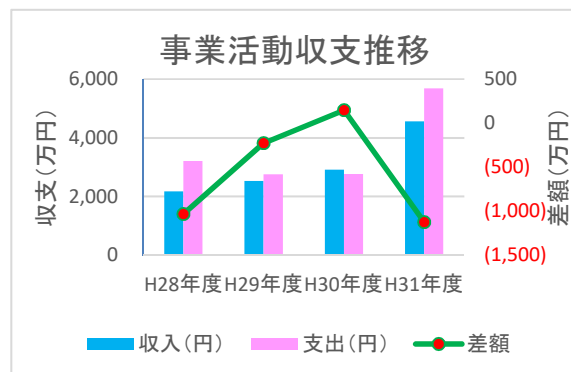
・年度開始の4月より、デイサービス歩の2階の一部を訪問看護ステーション開設のため改修した。

### 人材育成・研修

- ・月2回の研修会や勉強会を実施
- ・年2回の外部講師による研修の開催

### トピックス

・デイサービス歩は、定員を15名から25名に変更し実施している。訪問看護は、西予市を中心とし、宇和島・鬼北地区も実施地域としている。



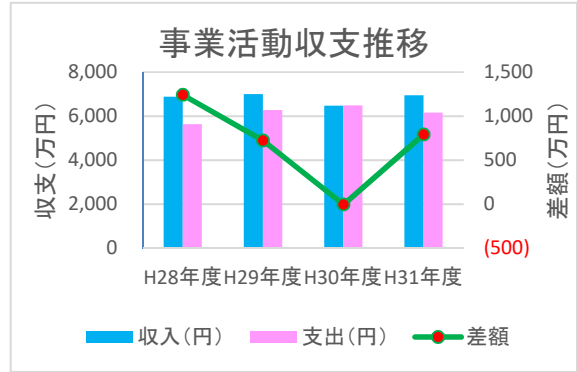
## 事業報告 : ケアハウスれんげ

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	68,750,027	69,997,768	64,756,493	69,480,952
支出(円)	56,331,732	62,755,209	64,789,413	61,556,821
差額	12,418,295	7,242,559	△ 32,920	7,924,131

#### ○状況

- ・原因: 10日間以上の長期入院者が3名となり、前年度の8名から減少した。
- ・動向等: 退去後の入れ替わりとして、新規入居者が比較的介護を必要としない方が多くなった。
- ・積立金等: 大規模改修等の実施がなかったため、積立金の増減はなかった。

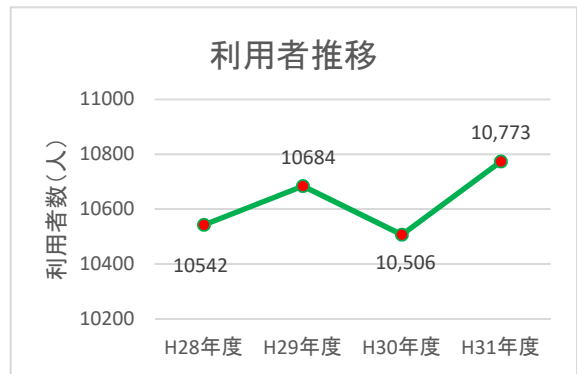


### 利用者推移

軽費	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	10,542	10,684	10,506	10,773
前年比(%)	—	101.3%	98.3%	102.5%

#### ○状況

- ・原因: 入院者4名(前年度10名)のうち、長期入院者3名(前年度8名)により、利用者数の増加となった。
- ・ニーズ等: 待機者として約80名の登録がある。これは前年度より10名程度増加している。



### 施設整備

- ・自動火災報知設備取替工事
- ・居室エアコン更新(個室1、夫婦部屋1)
- ・非常用発電機(防災対策事業補助金)

### 人材育成・研修

- ・高齢者虐待防止に関する研修
- ・感染症予防に関する研修
- ・事故防止対策委員会(ヒヤリハットの分析)ほか
- ・社会福祉主事任用資格取得者1名

### トピックス

- ・四季の移り変わりを実感してもらい、気分転換を図っていただく為に、外出ドライブを多く取り入れた。(大洲市、宇和島市、鬼北町など)
- ・行事ごとにホームページを更新し、生活の様子を発信することにより、遠くで暮らす家族の楽しみとしていただいた。
- ・広報紙「れんげだより」を定期的に発行することにより、日頃疎遠になりがちな家族とのコミュニケーションをとることができた。



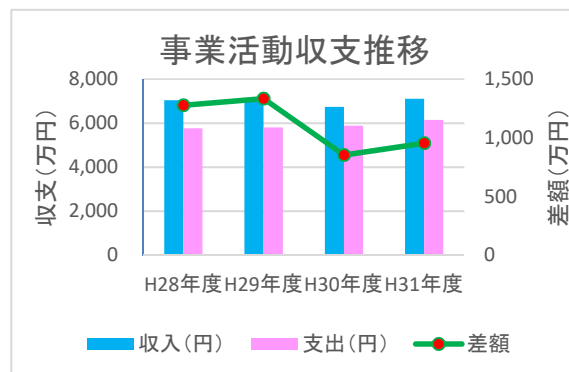
## 事業報告 : ケアハウスはまゆう

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	70,397,020	71,355,964	67,315,460	71,025,376
支出(円)	57,613,207	58,018,938	58,780,874	61,476,961
差額	12,783,813	13,337,026	8,534,586	9,548,415

#### ○状況

・前年度比上昇に転じた。要因は稼働率の向上である。平成30年度持病による入院が増加し稼働率が低下していたものの、今年度、定員の1/3にあたる11名の入退居により健康面で安定した利用者割合が高まり、比例し収入が回復した。

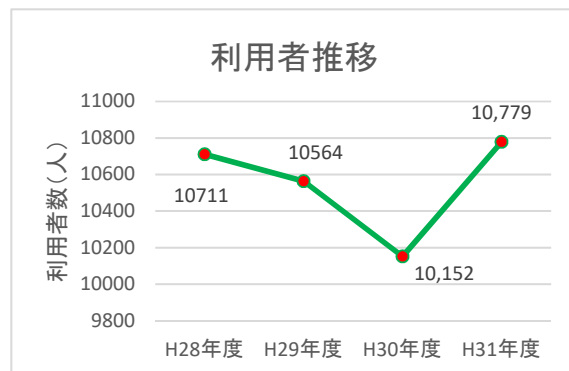


### 利用者推移

軽費	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	10,711	10,564	10,152	10,779
前年比(%)	—	98.6%	96.1%	106.2%

#### ○状況

・収支状況と同様の理由で増加している。前年比6%の伸びを見せた。



### 施設整備

- ・厨房天井のシロアリ駆除
- ・居室用エアコン更新(1台)

### 人材育成・研修

- ・OJTの推進
- ・老施協等外部研修への職員派遣

### トピックス

## 事業報告 : 三楽園

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	120,240,856	118,665,771	120,828,245	120,759,139
支出(円)	102,944,879	104,575,659	107,178,662	111,332,525
差額	17,295,977	14,090,112	13,649,583	9,426,614

#### ○状況

・夜間体制加算(8,500)、施設機能強化推進費(1,250)、民間施設強化推進費(19,849)等の加算を今年度も請求する。  
 ・支出の増加(2,202,472)の89.6%(1,972,543)は、人件費の増加分。

### 利用者推移

養護	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	17,679	17,695	17,288	17,314
前年比(%)	—	100.1%	97.7%	100.2%

#### ○状況

・6か月入院者が1名、12か月入院者が1名と長期入院の方がおられる。入院者の延べ人数が21名と平成30年度と比べると2名増となり、入院者は増加している。

### 施設整備

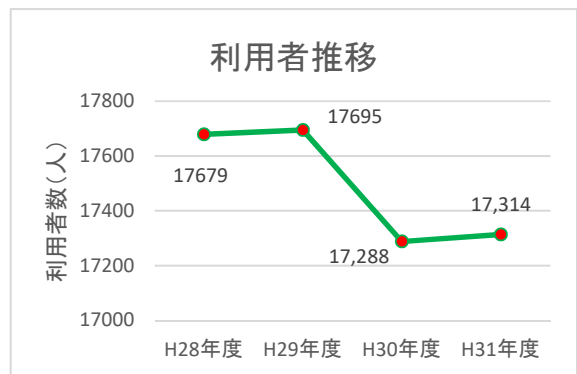
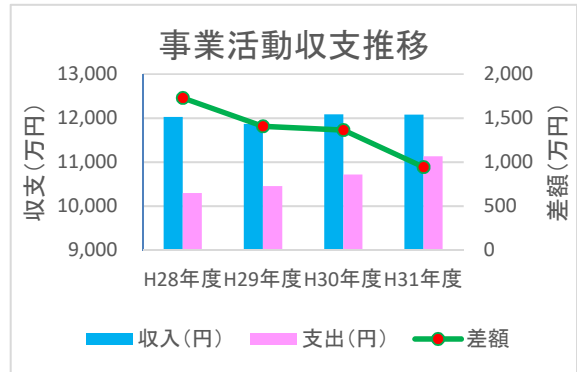
- ・保存食 47万(50人 3.5日分)
- ・軽介護車(リース)
- ・ガス式(回転式)乾燥機

### 人材育成・研修

- ・5/16…身体拘束等の適正化に関する研修
- ・6/17…養護老人ホームについての勉強会
- ・6/25…医療機器取り扱い研修・パソコン記録講習会
- ・9/17…なぜなぜ勉強会
- ・10/30…応急手当講習会
- ・11/27…手洗い講習会
- ・12/19…感染症勉強会
- ・2/20…身体拘束等の適正化に関する研修

### トピックス

- ・7/13(土)と11/9(土)の2回、三楽園周辺の地域(蔵貫・蔵貫浦・有太刀)の高齢者に案内を出し、地域の集会所(蔵貫ふれあいプラザ)にてチェアヨガ、口腔体操、リハビリ専門職員による健康体操、レクリエーション等の講座を開催し、地域住民の介護予防につなげた。
- ・9/20(金)三瓶小学校の4年生、32名を対象に1時間30分の時間で、介護教室を実施。認知症の方への理解、高齢者の疑似体験、車いすの扱い方、リフト車の体験等をしてもらうプログラム。
- ・平成30年7月豪雨により、新築が2年延期されていたが、年度末の3月、二本生小に通じる道の強度不足により重機の通行に支障が出る可能性があるということで、道路の補強工事を優先するために、再度工期が2年延期となり、令和7年となる。



## 事業報告 : 松葉学園

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	379,127,832	398,471,125	387,115,686	406,585,652
支出(円)	306,028,753	312,894,369	335,920,817	342,759,545
差額	73,099,079	85,576,756	51,194,869	63,826,107

#### ○状況

・松葉学園は、入所利用者の長期入院減少や区分変更等により、収入も増加した。夢の家は、正看護師配置により、医療連携体制加算がとれ、収入増となった。いっとき館は、安定した収入が継続している。ぼのぼのについては、利用者の減少と低単価のため、満足のいく収入は得られなかった。支出面では、松葉学園での大型洗濯機や特浴の修理ができず、新規購入することとなった。特浴については、人材確保等支援助成金を利用した。

施設・設備整備積立金 : 65,000,000円

### 利用者推移

入所	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	27,188	26,446	24,202	26,155
前年比(%)	—	97.3%	91.5%	108.1%

夢の家	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	13,230	13,125	13,244	13,686
前年比(%)	—	99.2%	100.9%	103.3%

ぼのぼの	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	3,274	4,602	4,842	5,395
前年比(%)	—	140.6%	105.2%	111.4%

いっとき館	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	6,598	6,858	6,487	6,358
前年比(%)	—	103.9%	94.6%	98.0%

#### ○状況

・松葉学園では、入所利用者の長期入院が減り、生活介護の利用も安定した状態であった。夢の家の新規利用者も継続して利用してもらっており、利用者増につながった。いっとき館は、常に定員を満たした状態を維持できた。ぼのぼのについては、放課後等デイサービスの利用者の伸びが悪く、今後も大きく利用が増える見込みがないため、児童発達支援の送迎サービス等利用者増加につながる取り組みを始めた。

### 施設整備

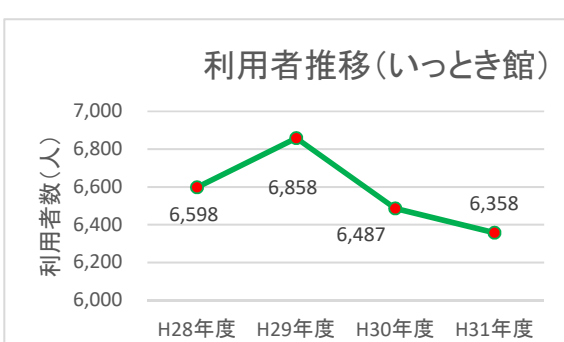
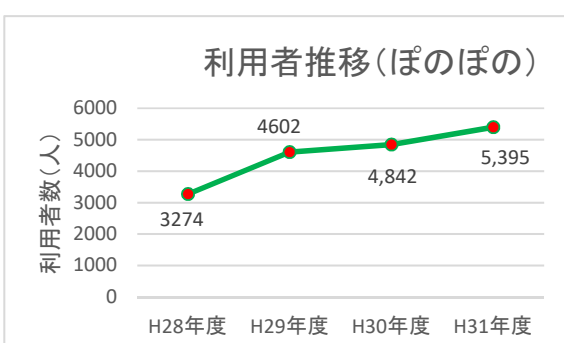
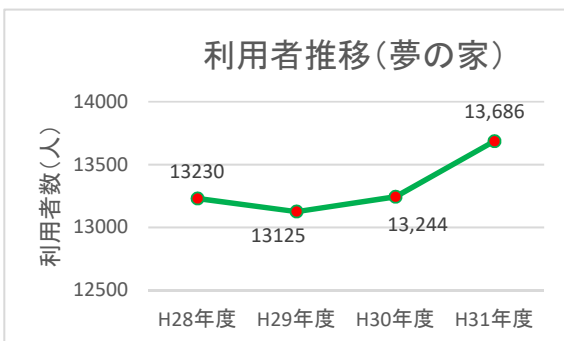
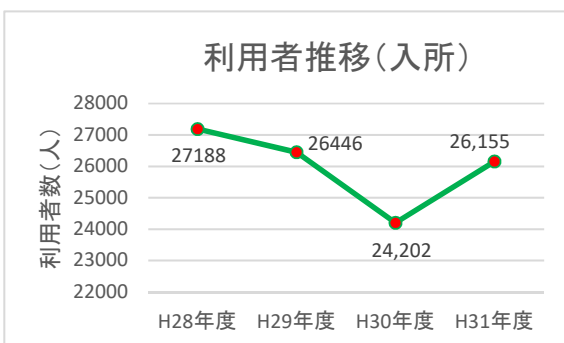
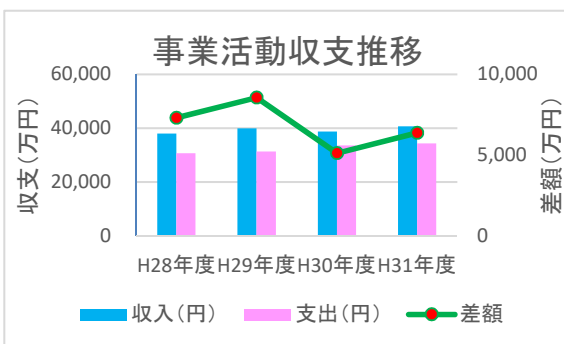
- ・大型洗濯機購入
- ・介護浴槽、昇降式ストレッチャー購入
- ・ぼのぼの外壁塗装
- ・いっとき館公用車(5人乗り普通車)リース、トラクター購入
- ・夢の家エアコン修理

### 人材育成・研修

- ・新人・新任職員へのサポーター制度の取り組み
- ・虐待防止研修会の開催
- ・各種研修会への参加

### トピックス

・令和2年度より、西予市から地域共生型交流拠点施設(三瓶)の指定管理をうけ、いっとき館が運営することとなった。障がい者の働く場として、また、地域の方々の楽しみや交流の場、健康づくりの場としてたくさんの方に利用してもらえるようにしていきたい。



## 事業報告 : 希望の森

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	268,996,629	265,110,007	276,098,536	300,869,359
支出(円)	191,216,779	195,436,739	187,519,964	193,796,539
差額	77,779,850	69,673,268	88,578,572	107,072,820

○状況

・全項目で利用率が向上したことで、前年度より大幅に収入が増えている。

施設・設備整備積立金 : 70,000,000円

### 利用者推移

入所	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	27,400	27,210	27,694	27,946
前年比(%)	—	99.3%	101.8%	100.9%

短期	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	1,467	1,371	1,423	1,522
前年比(%)	—	93.5%	103.8%	107.0%

日中一時	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	158	198	174	317
前年比(%)	—	125.3%	87.9%	182.2%

○状況

・通所事業の受け入れ担当職員2名が、年度当初より数値目標を定めて取り組んだことで利用率の向上に繋がった。また、2月、3月はコロナウイルス感染症の影響もあり、利用キャンセルが相次いでいたが、それでも昨年度より全項目で利用率が増加した。

### 施設整備

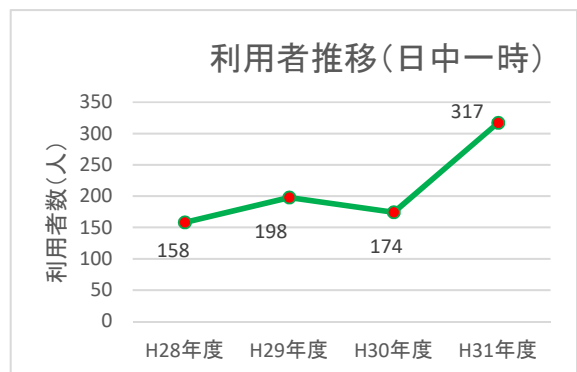
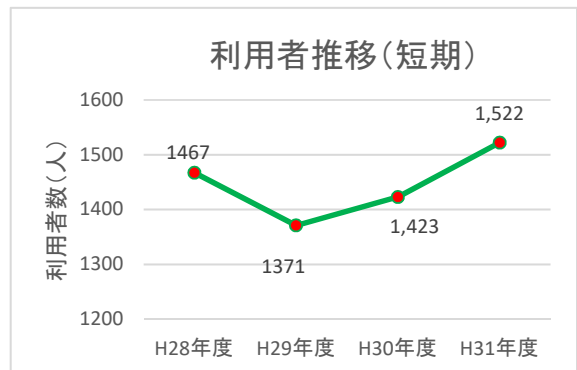
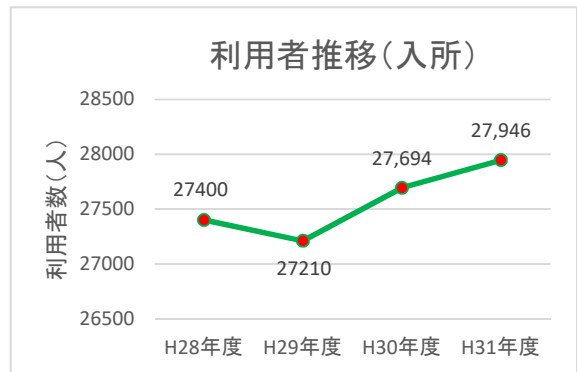
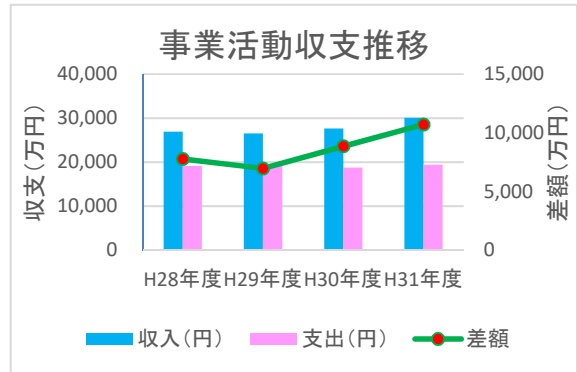
・居室と女性娯楽室の床の張替え工事を予定していたが発注予定の業者が多忙で発注できず、寒くなる季節や利用者の体調不良等と重なり、工事ができていない。ボイラーの故障により温水の供給ができなくなった。修繕を実施。

### 人材育成・研修

・OJTリーダー、人材育成委員を中心に新人職員へのフォローアップを定期的実施した。また、行動援護従事者研修等の研修にも積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。

### トピックス

・施設の経年劣化と入所利用者の高齢化により、施設の設計が古いため利用者の生活と合わなくなっている。車椅子対応者や常に見守りが必要となる利用者が増えたことで、新棟や2階で生活できなくなり管理等の居室が足りなくなっている。  
・利用者の高齢化に伴い、転倒による事故が多発してきている。1件は頸椎損傷により現在も入院中。



## 事業報告 : ひまわりの家

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	175,958,321	192,624,224	168,427,790	184,170,063
支出(円)	137,315,948	141,658,315	146,699,798	147,248,776
差額	38,642,373	50,965,909	21,727,992	36,921,287

#### ○状況

- ・暫定定員(養護19・心理8)となり、増収となった。
- ・支出についても利用者増が影響し、増加。但し、2月及び3月においては新型コロナウイルス感染予防のため、行事の自粛により、一部予算の未執行があった。
- ・次年度の暫定定員は(養護20・心理8)となる見込み。

施設・設備整備積立金 : 28,000,000円

### 利用者推移

児童養護	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	5,259	6,910	7,881	6,991
前年比(%)	—	131.4%	114.1%	88.7%

児童心理	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	1,242	1,837	2,207	2,041
前年比(%)	—	147.9%	120.1%	92.5%

#### ○状況

- ・今年度は養護で措置入所児童が5名、退所が1名で年度末の在籍が19名。
- ・心理は措置入所が3名、退所が4名で年度末の在籍が4名である。その内訳は県内1名、県外3名。

### 施設整備

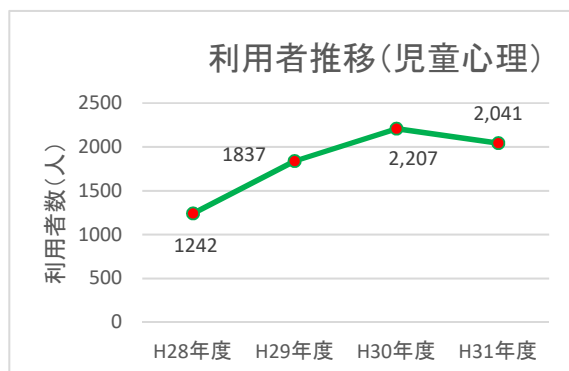
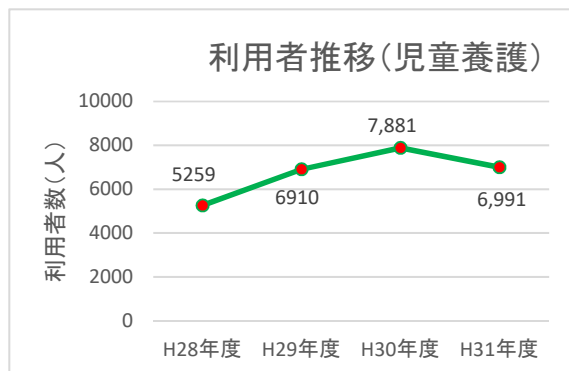
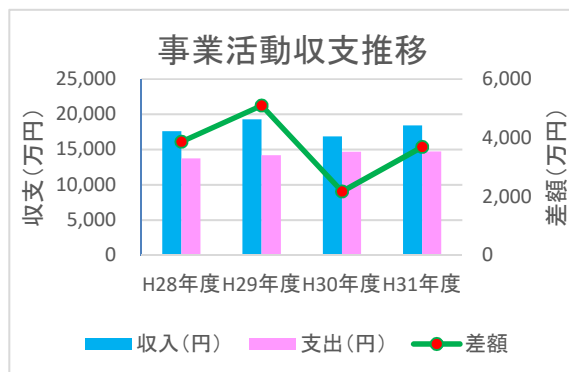
- ・業務用冷凍冷蔵庫の更新
- ・AEDの更新

### 人材育成・研修

- ・施設長講座(月1回)
- ・施設内研修にて、全職員が一度は講師担当
- ・在籍職員が認定心理士の資格取得

### トピックス

- ・不登校ゼロ
- ・わんぱく祭り実施
- ・里親交流会



## 事業報告 : うわまち未来こども園

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	—	—	211,502,826	207,084,192
支出(円)	—	—	174,617,254	163,996,312
差額	—	—	36,885,572	43,087,880

#### ○状況

・平成31年度は、4月当初、190名定員だが、171名のスタートで、最後3月も、183名で定員まで達してはいなかったが、待機児童を減らす為、職員の確保や配置等の工夫をおこない、0歳児の入所をすめ、3月には計15名の入所となり収入増につながった。

施設・設備整備積立金 : 34,000,000円

### 利用者推移

こども園	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	—	—	2,259	2,124
前年比(%)	—	—	—	94.0%

一時保育	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	—	—	162	442
前年比(%)	—	—	—	272.8%

学童保育	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	—	—	463	468
前年比(%)	—	—	—	101.1%

#### ○状況

・児童数については、定員割れの状態が続いてはいたが、0歳児の入所を 後半、すすめていき、待機児童受け入れを努力した。  
・学童については、10月まで定員いっぱいの40名の児童数で、収益につながった。

### 施設整備

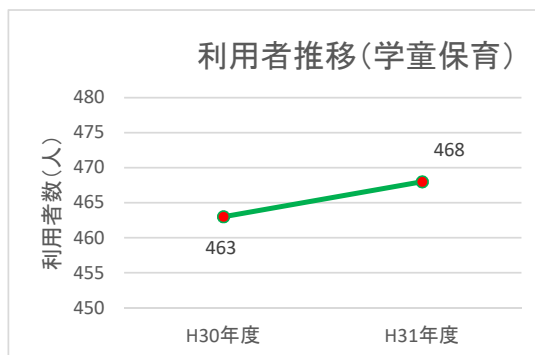
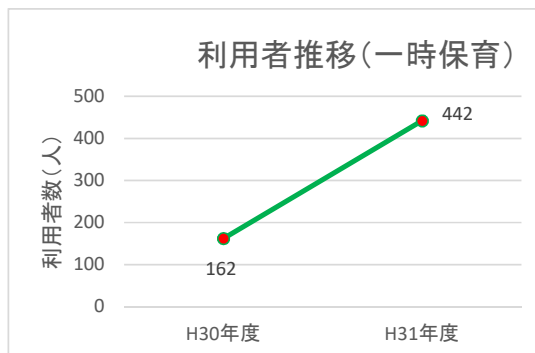
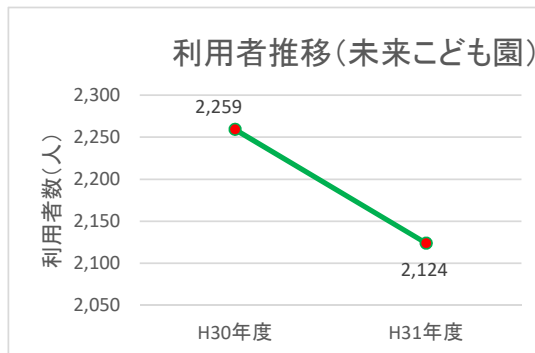
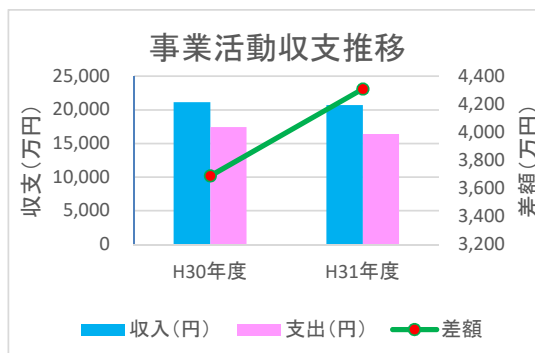
- ・テラス前園内舗装工事
- ・パネルハウス(園庭総合遊具・・・中央競馬馬主社会福祉財団)

### 人材育成・研修

- ・教育・保育施設初級職員研修会
- ・保育士キャリアアップ研修(乳児保育・幼児保育・障害児保育等)
- ・四国保育ブロック研修会
- ・広島全国大会
- ・OJT新人・新任研修(ミュージックケア・ネイチャーゲーム)
- ・園内研修

### トピックス

・5月の連休中、保護者のニーズにこたえて、特別一時預かり事業を行なう。  
少しづつ、待機児童(0歳児)を入所させ、運営の面でも工夫をしながら行ない、収益につなげた。園庭に、大型総合遊具を、中央競走馬主社会福祉財団の補助をうけ、設置した。職員の入れ替わり等あったが、全員で力をあわせて乗り切ることができた。  
・建設より、2年。職員のチームワークを高め、うわまち未来こども園らしい特色を深めていきたいと思う。



## 事業報告 : 中川保育園

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	75,312,057	75,999,547	100,221,378	87,793,279
支出(円)	56,970,738	61,419,800	74,258,486	70,848,427
差額	18,341,319	14,579,747	25,962,892	16,944,852

#### ○状況

・今年度も、4月当初から定員を超えた状態でのスタートで、低年齢児の入園が半分近くあったが、途中入所が出来なかった為、収入が伸び悩んだ。

施設・設備整備積立金 : 14,000,000円

### 利用者推移

保育園	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	684	704	854	706
前年比(%)	—	102.9%	121.3%	82.7%

学童保育	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	302	283	377	410
前年比(%)	—	93.7%	133.2%	108.8%

#### ○状況

・保育園は、毎年のことだが定員を超えての入所となっている。中川地区の出生数は増えているが、途中入園が出来なかった為、推移は伸び悩んでいる。

・学童は、今年度は大幅に定員を超えての希望者があり、全ての児童を受け入れて、地域の方々のご理解をいただき、公民館を利用した保育となったため、利用者は多かった。

### 施設整備

・藤棚ケレン塗装及び新設工事

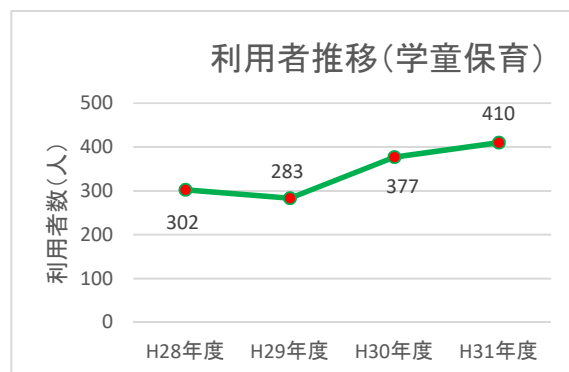
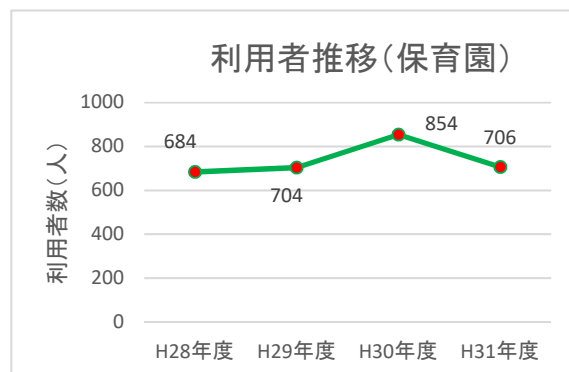
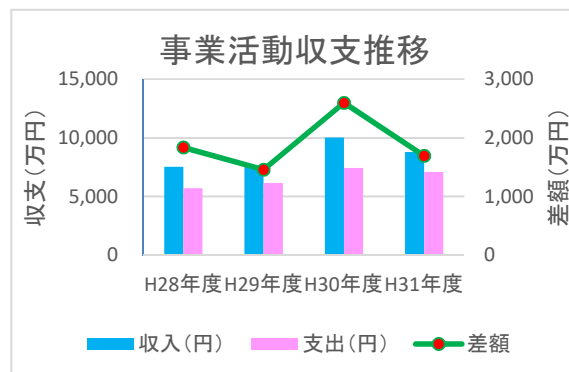
### 人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修
- ・新人、新任職員研修会
- ・OJT委員会
- ・西予市保育協議会研修会
- ・各部会研修(創作・絵画)
- ・保育全国大会
- ・園内研修(毎月)
- ・教育、保育施設長研修会
- ・保育事業研修大会

### トピックス

・中川保育園では、自然豊かで、地域とのつながりも深く大切にしている。毎月の老人施設への訪問・地域の行事への参加・田んぼをお借りしての泥田んぼ遊び・自然の中に作った加茂の山での自然遊び・お年寄りとの交流など、様々な人とのかわりを持ちながら、また様々な経験から生きる力を培うことを大切に保育をしている。

・学童では、長期の休みにはイベントに参加したり、毎週金曜日には、ボランティア(読み聞かせやけん玉など)の方々に、来ていただき色々な経験をさせていただいている。また、異学年の交流が持てる。



## 事業報告 : 田之筋保育園

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	51,146,883	61,769,400	68,845,531	80,324,635
支出(円)	43,200,984	47,929,271	51,934,607	64,232,664
差額	7,945,899	13,840,129	16,910,924	16,091,971

#### ○状況

・今年度も入園当初から定員を超えており、低年齢の途中入園が多かったため、収入増となった。

施設・設備整備積立金 : 13,000,000円

### 利用者推移

保育園	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	453	468	561	579
前年比(%)	—	103.3%	119.9%	103.2%

#### ○状況

・途中入園も多くあり、利用者数は増えた。  
 ・さくら団地に家を建てられている方が増え、出生数も増加している傾向にある。

### 施設整備

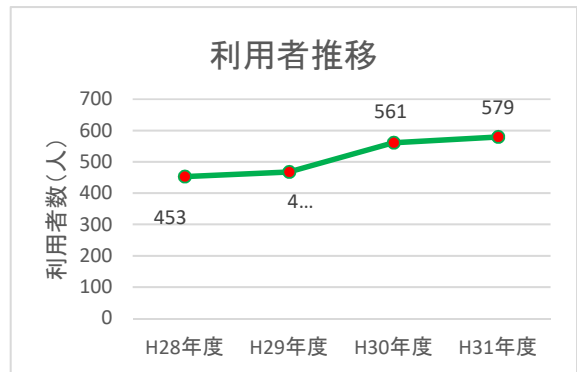
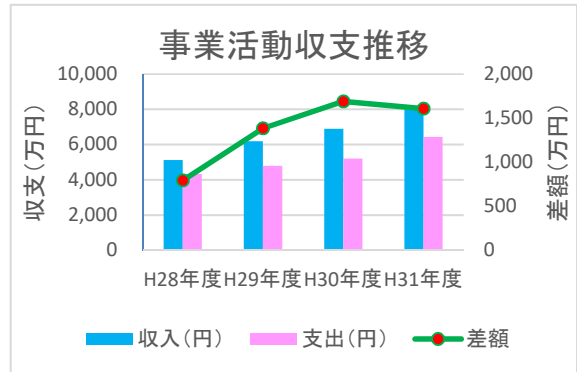
- ・令和元年6月 伸縮ゲートの更新
- ・令和元年9月遊具衝撃吸収安全マット
- ・令和元年10月ジャングルジム修理
- ・令和元年12月 足洗い場給湯器の設置
- ・令和2年1月 藤棚単管方式新設工事
- ・令和2年1月 木製小屋新設工事

### 人材育成・研修

- ・教育保育施設初級研修会
- ・全国保育研究大会
- ・保育士等キャリアアップ研修会
- ・法人主催研修会
- ・愛媛県保育事業研修大会
- ・市保育協議会研修会
- ・四国ブロック保育研究大会

### トピックス

- ・保育理念の「自然の中で、一人ひとりが輝き、生き抜く力の基礎を培う」の下、職員と子ども達が田之筋地区の自然の中で、伸び伸びと沢山の楽しい体験をすることが出来た。たけのこ掘りや泥田んぼでの泥んこ遊びや田植え、芋ほりやキウイの収穫等地域に出かけて色々な体験をさせて頂いた。また、地域のお年寄りとの交流も持ち、触れ合いながら人と関わる中で、自分らしさを表現できる子どもに育つように努めた。
- ・男性保護者による「芝かれ隊」も結成6年目となり、お父さん同士のつながりも深まってきている。全面芝生化の園の整備等子ども達が安全に遊べる環境作り大変協力して頂き、気持ち良く過ごせている。





## 事業報告 : 下宇和保育園

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	56,550,018	61,569,003	66,378,694	88,116,920
支出(円)	54,087,057	53,798,106	59,772,212	68,393,807
差額	2,462,961	7,770,897	6,606,482	19,723,113

#### ○状況

- ・4月より明間保育園からの園児の受入れを行っており、常に定員以上の利用があったため、増収となっている。
- ・園児が増えたため、昨年度より職員が4名増えており、支出が増えている。
- ・明下田クラブについては、下宇和公民館の2階での活動となり、田之筋小学校等の利用が増えたため、増収となっている。
- ・令和2年度は明間保育園が再開し、園児が減ることにより減収が予想される。

施設・設備整備積立金 : 15,000,000円

### 利用者推移

保育園	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	408	460	493	635
前年比(%)	—	112.7%	107.2%	128.8%

学童保育	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	492	419	303	359
前年比(%)	—	85.2%	72.3%	118.5%

#### ○状況

- ・4月より明間保育園からの園児を受入れ、利用人数が増加している。
- ・明下田クラブは、4月より下宇和公民館の2階に移動し、田之筋小学校からの利用人数が増えている。

### 施設整備

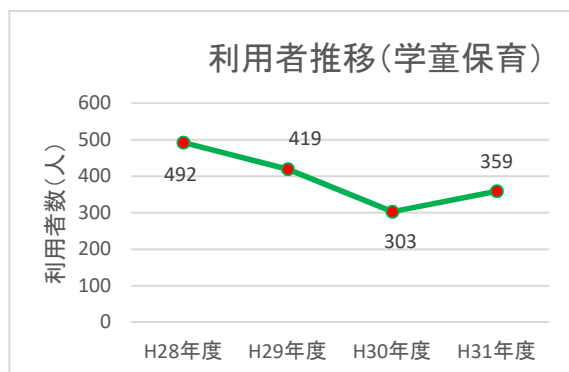
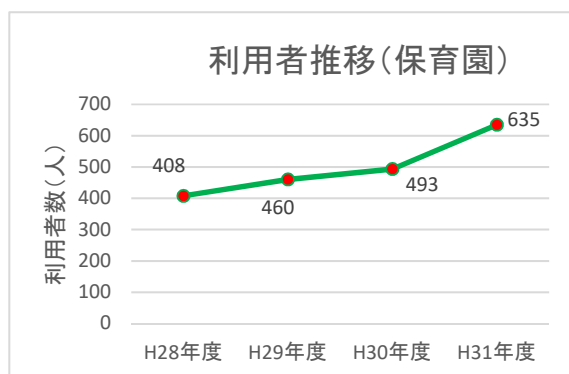
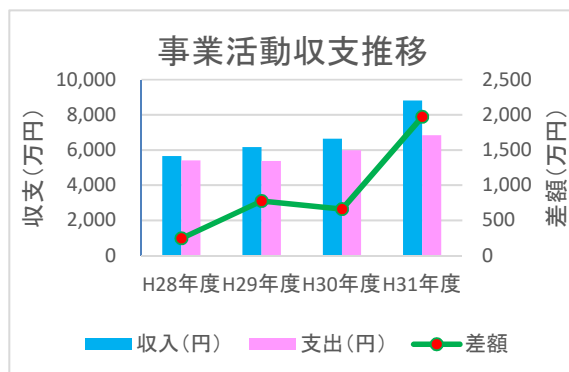
- ・乳児室エアコン
- ・ホールエアコン
- ・S字遊具

### 人材育成・研修

- ・新人・新任職員研修
- ・四国ブロック保育研究大会
- ・市保育協議会研修
- ・保育士等キャリアアップ研修
- ・保育関係交流セミナー
- ・部会研修(創作・絵画・ケース)
- ・法人主催研修(OJT・各部会)

### トピックス

- ・4月より明間保育園と一緒に定員40名のところ現員49名でスタートしている。
- ・令和2年度より明間保育園が復活するようになり、準備を進める。
- ・新型コロナウイルスの影響で3月の行事等が中止もしくは、縮小された。
- ・明下田クラブは4月から下宇和公民館の2階に移動し、利用人数も増加した。令和2年度も引き続き下宇和公民館2階で活動する。



## 事業報告 : 明間保育園

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	43,375,575	33,817,718	47,844,544	0
支出(円)	42,111,838	35,692,281	36,867,154	940,318
差額	1,263,737	△ 1,874,563	10,977,390	△ 940,318

#### ○状況

・平成30年度豪雨災害による、避難指示区域に指定されたため、平成31年度は休園。

### 利用者推移

保育園	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	305	209	252	0
前年比(%)	—	68.5%	120.6%	0.0%

#### ○状況

・平成30年度豪雨災害による、避難指示区域に指定されたため、平成31年度は休園。

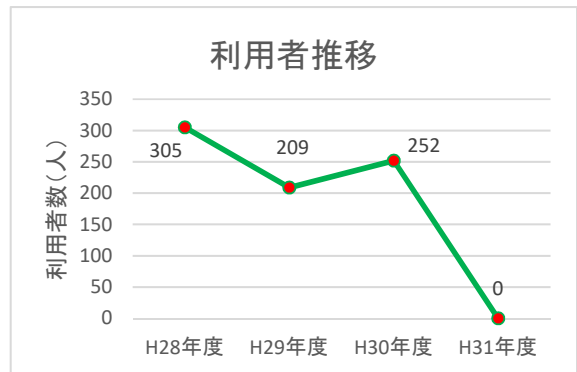
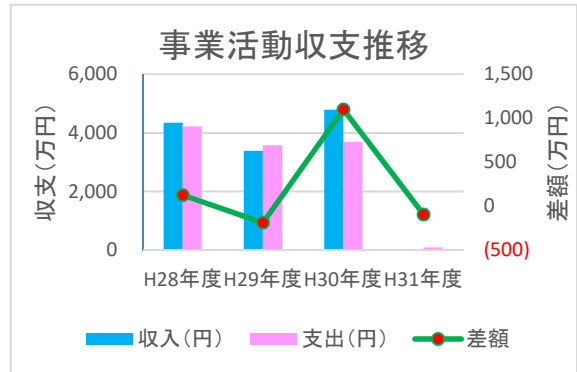
### 施設整備

- ・園内外の点検
- ・年度末、地域の方より奉仕作業(園庭整備)
- ・年度末、園長・副園長で園内清掃
- ・調理室排水・配管修繕
- ・保育室床板修繕

### 人材育成・研修

### トピックス

・令和元年12月、明間岡山地区豪雨災害避難指示区域解除。それに伴い、令和2年4月より再開。



## 事業報告 : 宇和保育園

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	136,472,090	148,671,416	141,279,728	149,728,497
支出(円)	127,317,868	135,908,662	124,085,363	132,443,586
差額	9,154,222	12,762,754	17,194,365	17,284,911

#### ○状況

・年度当初は、定員に満たない利用者数であったが、年度途中の入園希望が多数あり、年度末には0歳児が11名となり、また定員を超えての利用者数となったため、安定した運営となった。

施設・設備整備積立金 : 13,000,000円

### 利用者推移

保育園	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	1,615	1,609	1,453	1,508
前年比(%)	—	99.6%	90.3%	103.8%

一時保育	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	527	509	702	386
前年比(%)	—	96.6%	137.9%	55.0%

支援センター	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	6,215	5,487	4,566	4,139
前年比(%)	—	88.3%	83.2%	90.6%

学童保育	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	653	946	684	657
前年比(%)	—	144.9%	72.3%	96.1%

#### ○状況

・保育園は、途中入園の希望が多く、保育士の人数、保育室の面積等、考慮しながら対応した。  
 ・一時保育は、低年齢児が各保育園に入園されたため、利用が少なくなった。外国人の方の里帰りの利用もあった。  
 ・支援センターは、1日平均17.24人の利用。気軽に相談等していただける雰囲気作りと、安心して気持ちよく利用できる環境作りに努めた。  
 ・学童は、年間通して月の利用者数に大きな変化がなかった。

### 施設整備

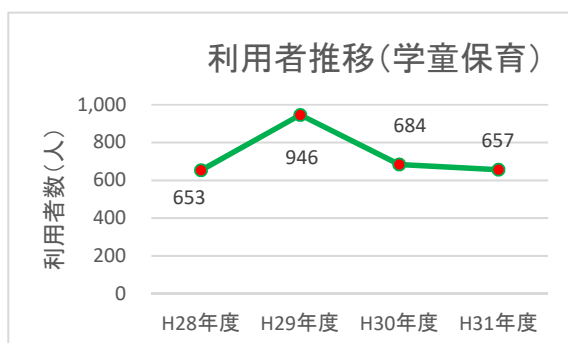
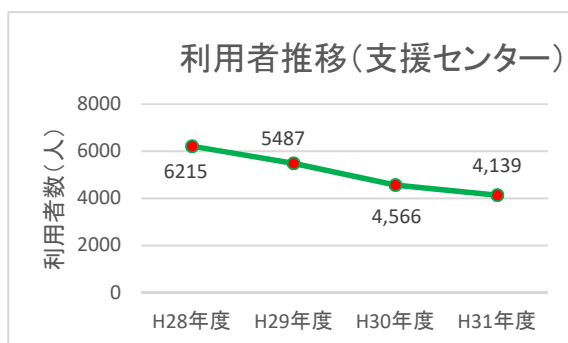
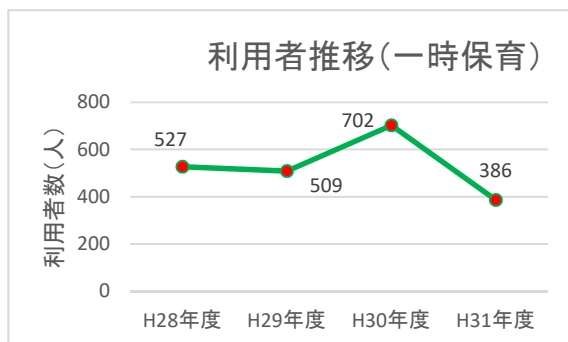
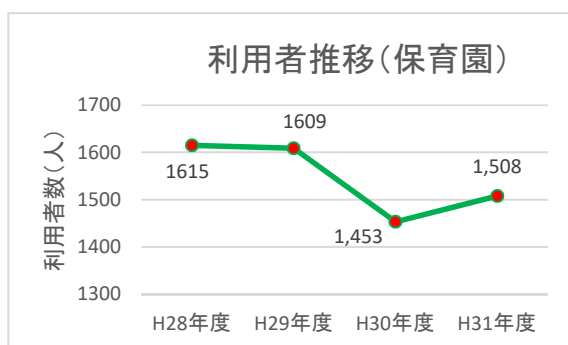
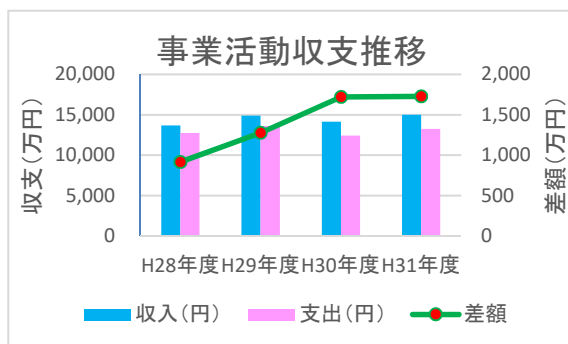
- ・ワイヤレスアンプ購入
- ・外部床緩衝材設置工事
- ・保管庫購入
- ・洗濯置場改修他工事
- ・ガレージ倉庫入り口扉修繕
- ・木製小屋新設工事
- ・グリストラップ蓋取替修繕
- ・FRPぞうさん、ジャングルジムマット

### 人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修
- ・西予市保育協議会研修(中堅研修会等)
- ・OJT研修(新人、新任研修)
- ・園内研修(自己評価、人権擁護セルフチェック、事例検討等)
- ・全国保育研究大会

### トピックス

- ・地域の方や農業後継者の方の協力により、泥んこ遊び・田植え・稲刈りの自然体験や、またお手玉、お話し会等を経験することにより、保育内容を豊かに展開し、保育目標に沿った保育に努めた。
- ・12月に第三者評価を受審した。



## 事業報告 : 石城保育園

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	—	—	73,196,454	69,412,741
支出(円)	—	—	55,912,181	57,001,920
差額	—	—	17,284,273	12,410,821

#### ○状況

・年間を通してほぼ定員を満たす利用があり、安定した経営ができた。

施設・設備整備積立金 : 12,000,000円

### 利用者推移

保育園	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	—	—	596	613
前年比(%)	—	—	—	102.9%

#### ○状況

・新年度48名でスタートし、8名の途中入園、3名の途中退園があり年度末には53名となった。年間を通して、ほぼ定員を満たす利用があった。

### 施設整備

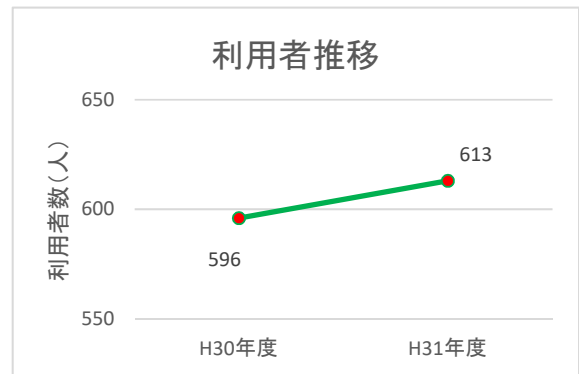
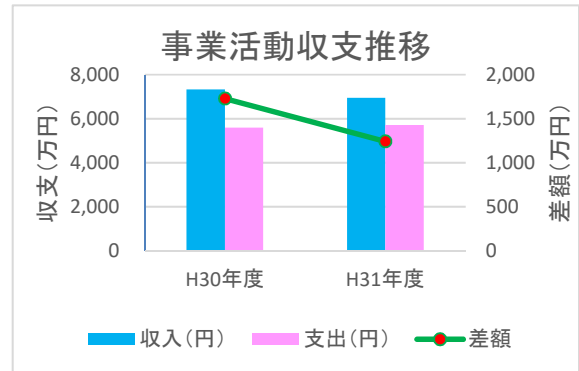
- ・天井用扇風機交換
- ・テラス床塗替え工事
- ・衝撃吸収安全マット

### 人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修
- ・OJT研修
- ・各部会
- ・西予市保育協議会研修
- ・特定給食施設等関係者研修会
- ・全国、四国ブロック保育研究大会
- ・教育、保育施設長研修
- ・園内研修(自己評価、人権擁護について等)

### トピックス

・西予総合福祉会への移管2年目で、アンケートの集計結果からも満足度が高く、保護者からの信頼を得ることができている。1年目では実施できなかった「お泊り保育」も保護者の賛同を得て、8年ぶりに実施することができこの経験が子どもたちにとって自信につながりよい思い出となった。



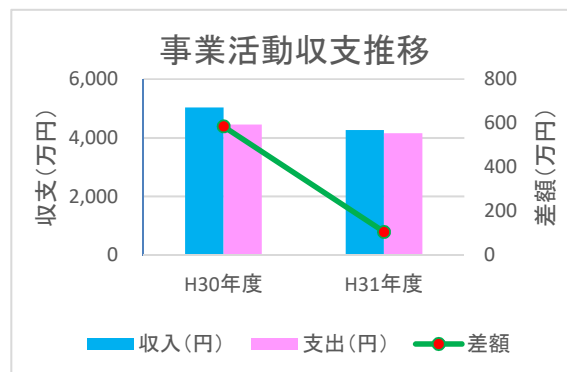
## 事業報告 : 多田保育園

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	—	—	50,343,211	42,622,981
支出(円)	—	—	44,494,492	41,564,814
差額	—	—	5,848,719	1,058,167

#### ○状況

・老朽化による遊具の修繕や撤去、職員室兼保健室エアコンの設置、門扉の修繕などの費用がかさんだ。  
 ・利用者が減ったことにより、利用定員を30名から20名に変更した。  
 このことにより、事業活動収支がプラスになった。

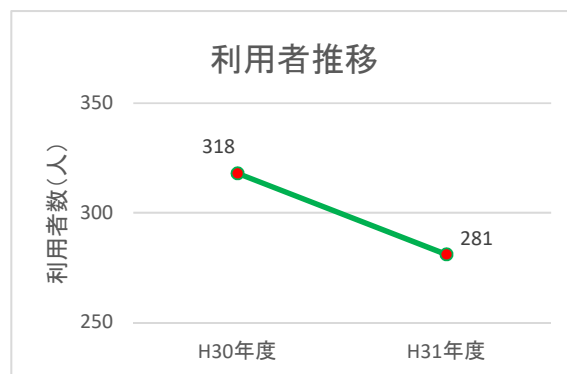


### 利用者推移

保育園	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	—	—	318	281
前年比(%)	—	—	—	88.4%

#### ○状況

・少子化、人口減少社会等により入所希望児童が減少傾向にあり、平成30年度の利用者数が定員30名に達した月がなく、平成31年度は利用定員を20名にしスタートした。年度当初20名、途中入園もあり年度末には24名であった。



### 施設整備

- ・門扉修繕
- ・職員室兼保健室のクーラー設置
- ・登り棒修繕とセーフティマットの設置
- ・総合遊具撤去
- ・砂場藤棚の設置
- ・業務用食器洗浄機リース契約

### 人材育成・研修

- ・四国ブロック保育研究大会
- ・保育関係交流セミナー
- ・保育士等キャリアアップ研修等
- ・市保育協議会研修
- ・法人主催研修(OJT・各部会)
- ・全国保育研究大会

### トピックス

- ・総合遊具について今年度に修繕を予定していたが、全体的に腐食がひどく修繕では対応できないこと、また、同程度の遊具設置には500万円～600万円の費用が掛かるとのことで今年度は撤去のみとしている。
- ・新型コロナウイルスの影響を受け、卒園式は卒園児、卒園児の保護者、職員、在園児(年中)のみ参加する規模を縮小して実施。その後の、園内行事を縮小、中止するなど、感染拡大防止の対応している。

## 事業報告 : 游の里健康センター

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	43,334,616	42,544,806	33,801,071	44,646,727
支出(円)	50,032,349	49,134,053	34,078,071	47,790,101
差額	△ 6,697,733	△ 6,589,247	△ 277,000	△ 3,143,374

#### ○状況

・豪雨災害の被災を乗り越え事業再開を果たした平成30年12月以降ほぼ毎月前年比10%来館者数が増え、平成31年度においても同様の推移を辿った。要因は、隣接していた野村町の温浴施設が事業を廃止したことで、新たな集客につながったと分析している。  
 ・平成30年度より西予市との指定管理契約が単年度更新となったことから、現況を踏まえ、令和2年度は契約の更新を見送り游の里の温泉事業より撤退した。

### 利用者推移

保育園	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	86,306	85,499	49,596	82,365
前年比(%)	—	99.1%	58.0%	166.1%

#### ○状況

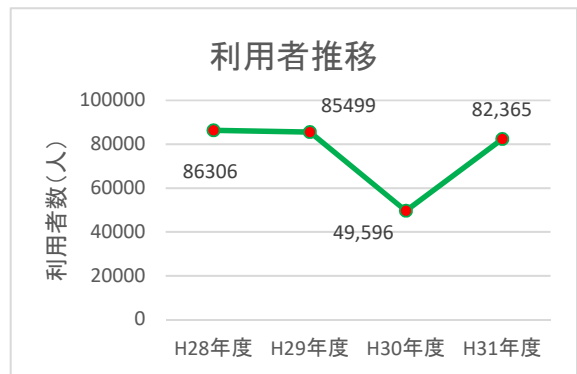
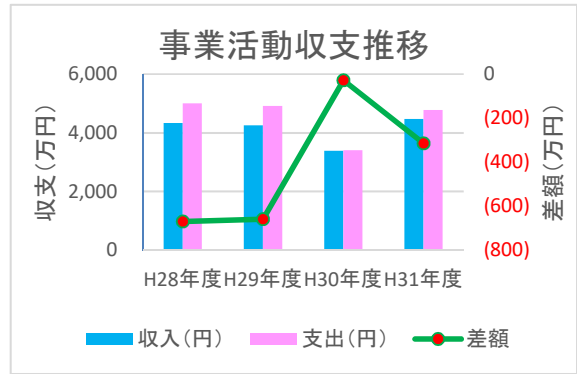
・平成31年度は3月15日までの営業を予定していたが、愛媛県内で新型コロナウイルス感染者の確認を受け、西予市の指示により3月3日から臨時休館となりそのまま営業終了を迎えた。  
 ・平成31年4月以降ほぼ11ヶ月の営業で82365名集客できた。12ヶ月で換算するとおよそ90000名となり、94000名を記録した平成27年度の水準近くまで回復していた。

### 施設整備

### 人材育成・研修

### トピックス

・令和2年3月で事業撤退



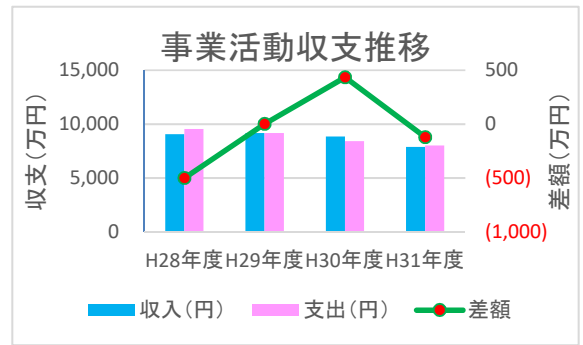
## 事業報告 : 松葉診療所

### 事業活動収支推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
収入(円)	90,429,690	91,682,105	88,436,319	78,760,391
支出(円)	95,438,570	91,673,375	84,091,332	79,978,864
差額	△ 5,008,880	8,730	4,344,987	△ 1,218,473

○状況

・在宅医療(訪問診察・訪問看護・訪問リハ)の患者のうち、利用頻度の多い高齢者が数名ご逝去されたことが要因と思われる。



### 利用者推移

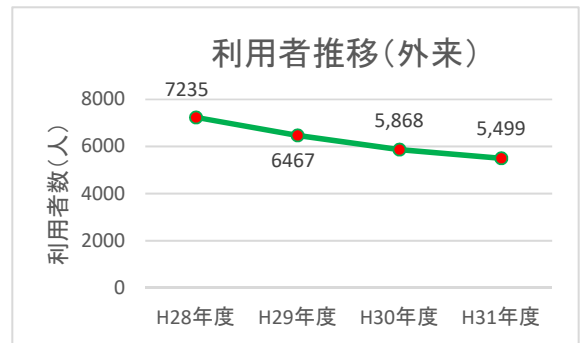
外 来	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	7,235	6,467	5,868	5,499
前年比(%)	—	89.4%	90.7%	93.7%

訪問診療	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	885	932	1,191	1,065
前年比(%)	—	105.3%	127.8%	89.4%

往 診	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
利用者(人)	218	292	221	132
前年比(%)	—	133.9%	75.7%	59.7%

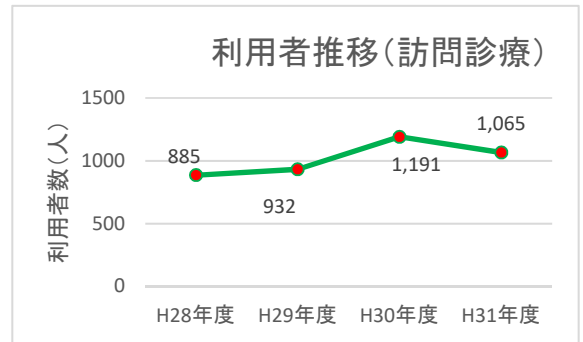
○状況

・収支状況と同様に、高齢者の利用の減少が要因と思われる。



### 施設整備

- ・手動式オージオメーター(聴覚検査機械)の購入
- ・防犯カメラ設置(三間)
- ・洗濯機購入
- ・トヨタヴィッツ(送迎車)購入



### 人材育成・研修

- ・医療安全管理、院内感染対策研修
- ・情報セキュリティ研修

### トピックス

